新日軽

取付説明書番号 ME-1788
改－3

ニューエクジスフェンス DK 型 取付説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この取付説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項　施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱置位置決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●支柱の水抜き穴をモルタル等で塞がないでください。
●屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
●風当りの強い場所にフェンスを設置する場合は、柱間隔を 1m 以内にしてください。
●改造・変更をしないでください。

この取付説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●フェンス本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
●フェンスをみだりに改造、変更しないでください。
●本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
●フェンスに電線等を直接載せないでください。
●各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
●無理にボルト・ビスを締付けないでください。破損の原因となります。

もくじ

梱包明細……2
各部の名称……3
施工前の確認……4
納まり図……5
1．柱の設置……7
　1－1自在柱の調整……7
　1－2柱の設置……8
　1－3下部固定金具の仮止め……8
2．傾斜部材の切断
　（※傾斜角度違い納まり・コーナー自在納まりの場合）……9
　2－1傾斜部材の切断……9
　　2-1-1切断前の確認……9
　　2-1-2標準の切断方法……9
　　2-1-3下部ふさぎ板付きの場合の切断方法……10
　2－2ジョイント部材の切断……10
　2－3傾斜部材の組立て……11
3．フェンス取付け前の作業……12
　3－1上下胴縁の切断……12
4a．フェンスの取付け（※１段用の場合）……13
　4a－1平地用フェンスへのブラケットの取付け……13
　4a－2フェンスの取付け……13
　4a－3フェンスの連結（※傾斜角度が同じ納まりの場合）……17
　4a－4柱キャップの取付け……17
4b．フェンスの取付け（※２・３段用の場合）……18
　4b－1平地用フェンスへのブラケットの取付け……18
　4b－2フェンスの取付け……18
　4b－3柱キャップの取付け……20
5．エンドカバーの取付け
　（傾斜地用フェンスが端部になる場合）……21
　5－1エンドカバーの切断……21
　　5-1-1切断前の確認……21
　　5-1-2標準の切断方法……21
　　5-1-3下部ふさぎ板付きの場合の切断方法……21
　5－2エンドカバーの取付け……22
6．フェンス取付け後の作業……22
　6－1長孔ふさぎの取付け……22
　6－2ビスの本締め……22
7．フェンスの切詰め……23
　7－1フェンスの切詰め……23
　7－2端部カバーの取付け（※オプション）……24
施工工事店様、販売店様へのお願い……24

●本商品は、傾斜地用の形材フェンスです。
●傾斜地と連結する平地用フェンスの取付けについては、「形材フェンス」の取付説明書[ME-1473]を参照してください。

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●取付説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の（　）は個数を表しています。

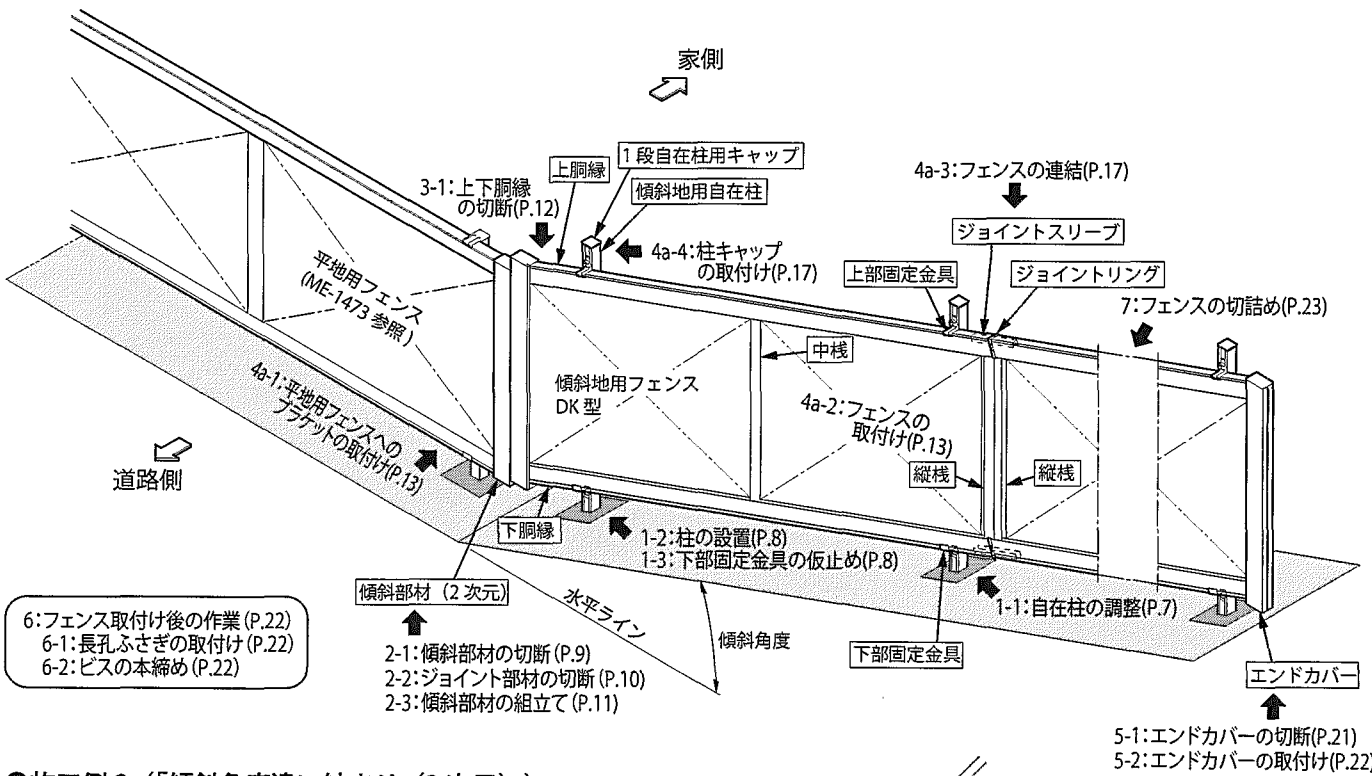
梱包名称		梱包内容	
フェンス本体	H600	本体（1）	
	H800	本体（1）	
	H1000	本体（1）	
	H1200	本体（1）	
傾斜地用自在柱	1段用	傾斜地用自在柱（1）	
		柱セット部品	ブラケット受け（2）・上部固定金具（1）・下部固定金具（1）・M4×8トラス小ネジ（4） 1段自在柱用キャップ（1）・ジョイントスリーブ（2）・φ4×10トラスタッピン3種（5） ジョイントリング（2）・φ4×16セルフドリリングビス（1）・取付説明書[ME-1788]（1）
	2段用	傾斜地用自在柱（1）	
		柱セット部品	ブラケット受け（3）・上部固定金具（1）・中間固定金具（1）・下部固定金具（1） 柱キャップセット（1）[柱キャップ（1）・φ4×20トラスタッピン3種（2）] M4×8トラス小ネジ（6）・ジョイントスリーブ（4）・φ4×10トラスタッピン3種（8） ジョイントリング（4）・φ4×16セルフドリリングビス（1）・取付説明書[ME-1788]（1）
	3段用	傾斜地用自在柱（1）	
		柱セット部品	ブラケット受け（4）・上部固定金具（1）・中間固定金具（2）・下部固定金具（1） 柱キャップ(1)・M4×8トラス小ネジ(8)・ジョイントスリーブ(6)・φ4×10トラスタッピン3種(14) ジョイントリング（6）・φ4×16セルフドリリングビス（1）・取付説明書[ME-1788]（1）
傾斜部材（2次元）	1段用	傾斜部材（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（4）・φ4×25トラスタッピン2種（8）・M4用平座金（4） 下部内部ブラケット（2）・長孔塞ぎ（4） φ4×16トラスタッピン1種（2）・φ4×16セルフドリリングビス（4） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（4）・φ4×8トラスタッピン3種（20）]
	2段用	傾斜部材（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（4）・φ4×25トラスタッピン2種（8）・M4用平座金（8） 下部内部ブラケット（4）・長孔塞ぎ（8） φ4×16トラスタッピン1種（4）・φ4×16セルフドリリングビス（8） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（8）・φ4×8トラスタッピン3種（40）]
	3段用	傾斜部材（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（4）・φ4×25トラスタッピン2種（8）・M4用平座金（12） 下部内部ブラケット（6）・長孔塞ぎ（12） φ4×16トラスタッピン1種（6）・φ4×16セルフドリリングビス（12） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（12）・φ4×8トラスタッピン3種（60）]
傾斜自在部材（3次元）	1段用	傾斜自在部材（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（4）・ヒンジキャップ（2）・φ4×25トラスタッピン2種（12）・M4用平座金（8） 下部内部ブラケット（2）・長孔塞ぎ（4） φ4×16トラスタッピン1種（2）・φ4×16セルフドリリングビス（4） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（4）・φ4×8トラスタッピン3種（20）]
	2段用	傾斜自在部材（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（4）・ヒンジキャップ（2）・φ4×25トラスタッピン2種（12）・M4用平座金（12） 下部内部ブラケット（4）・長孔塞ぎ（8） φ4×16トラスタッピン1種（4）・φ4×16セルフドリリングビス（8） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（8）・φ4×8トラスタッピン3種（40）]
	3段用	傾斜自在部材（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（4）・ヒンジキャップ（2）・φ4×25トラスタッピン2種（12）・M4用平座金（16） 下部内部ブラケット（6）・長孔塞ぎ（12） φ4×16トラスタッピン1種（6）・φ4×16セルフドリリングビス（12） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（12）・φ4×8トラスタッピン3種（60）]
エンドカバー	1段用	エンドカバー（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（2）・φ4×25トラスタッピン2種（4）・M4用平座金（2） 長孔塞ぎ（2）・φ4×16セルフドリリングビス（2） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（4）・φ4×8トラスタッピン3種（20）]
	2段用	エンドカバー（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（2）・φ4×25トラスタッピン2種（4）・M4用平座金（4） 長孔塞ぎ（4）・φ4×16セルフドリリングビス（4） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（8）・φ4×8トラスタッピン3種（40）]
	3段用	エンドカバー（1）	
		傾斜部材セット部品	傾斜部材キャップ（2）・φ4×25トラスタッピン2種（4）・M4用平座金（6） 長孔塞ぎ（6）・φ4×16セルフドリリングビス（6） 切詰め用ビスセット（1）[φ5×8トラスタッピン3種（12）・φ4×8トラスタッピン3種（60）]
端部カバー（別売品）		縦桟A（2）	

各部の名称

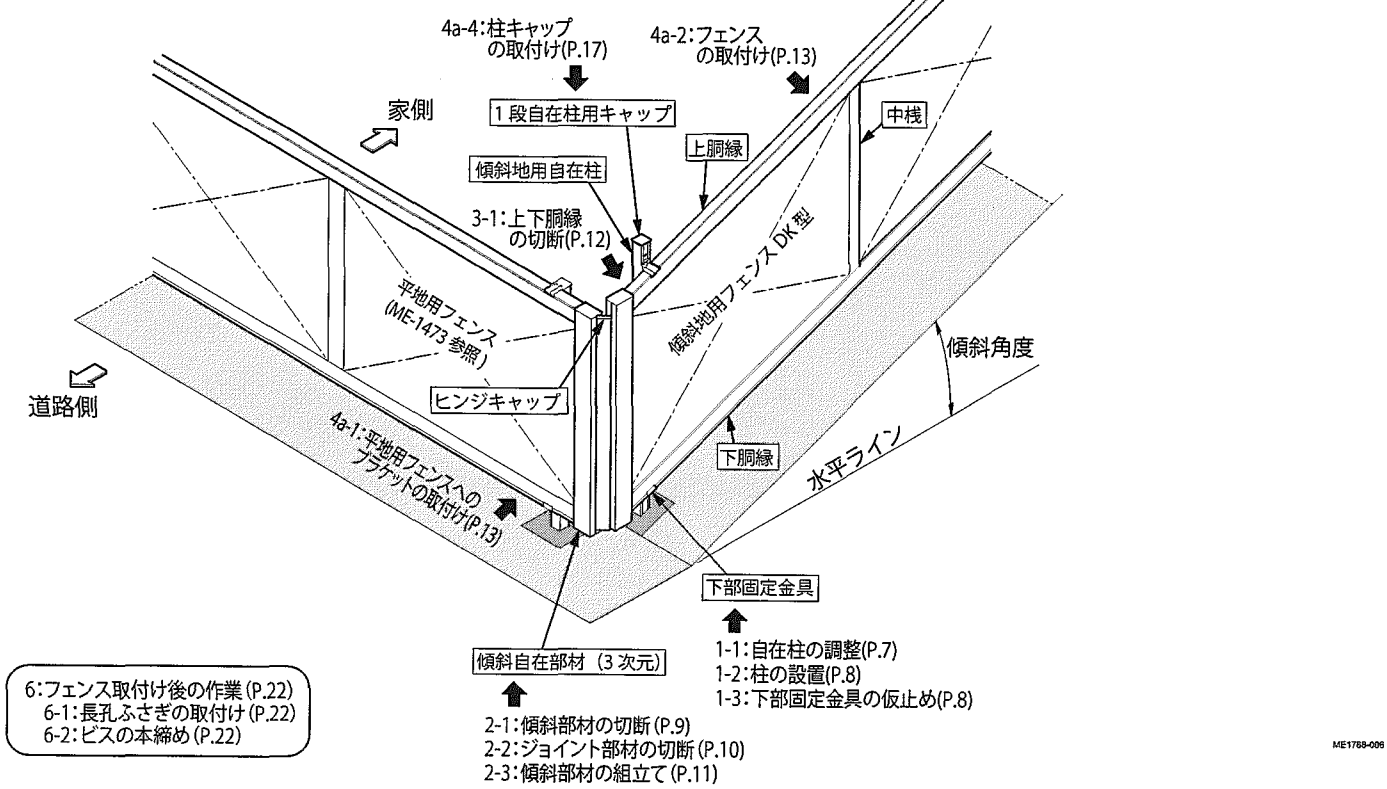
●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
※[　　]内は各部の名称を示しています。「1-1」などの番号は組立施工手順を示しています。
※（　）内は説明ページを示しています。

●施工例 1（「傾斜角度違い納まり（2 次元）」+「傾斜連結納まり」）

傾斜地用フェンスと連結する平地用フェンスは、下記の商品を施工することができます。
・「ニューエクジスフェンス D シリーズ（DS 型を除く）」



●施工例 2（「傾斜角度違い納まり（3 次元）」）



施工前の確認

●施工前に確認してください。

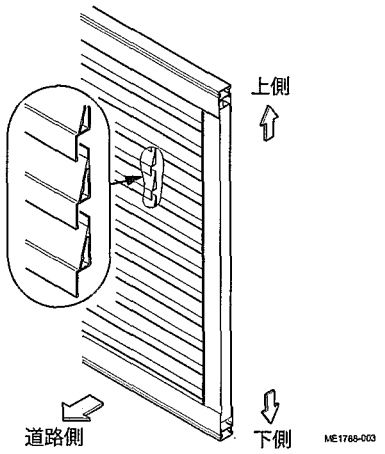
フェンス本体について

●フェンス本体には上・下、表・裏があります。ご注意ください。

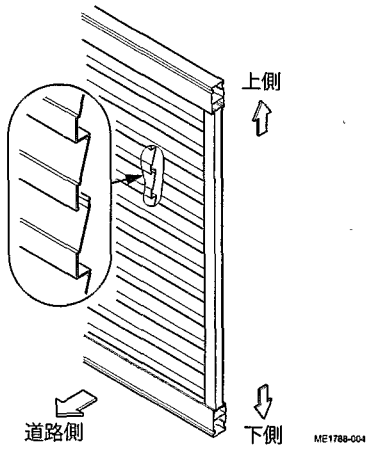
> DK 型は、平地用フェンスとしても使用することができます。

> 平地用フェンスの施工については、「形材フェンス」の取付説明書 [ME-1473] を参照してください。

●傾斜地用フェンス
（ニューエクジスフェンス DK 型）



●平地用フェンス
（ニューエクジスフェンス DJ 型）

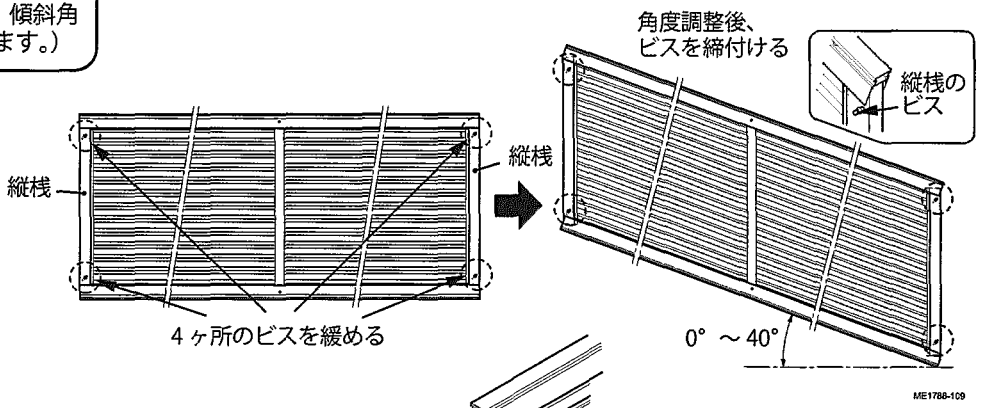


DK 型の施工について

> DK 型は傾斜角度 0° ～ 40° まで施工可能です。（出荷時は、傾斜角度 0° ～ 25° に対応しています。）

傾斜角度 0° ～ 25° の場合

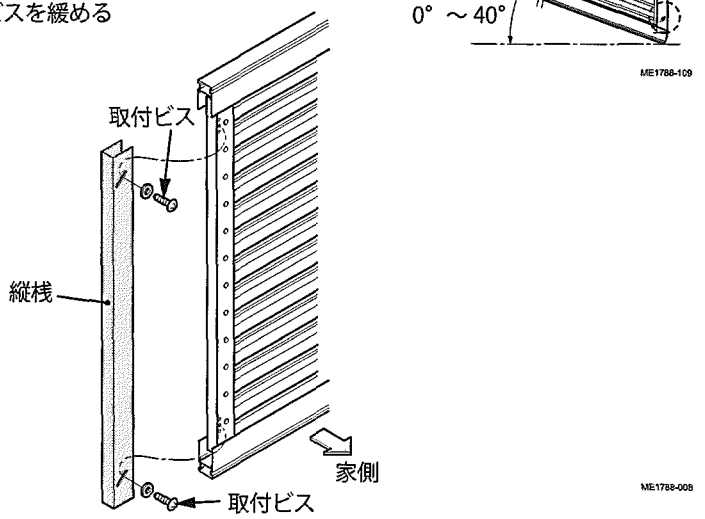
●縦桟を固定しているビスを緩めて、フェンス本体を傾斜させてください。



傾斜角度 26° ～ 40° の場合

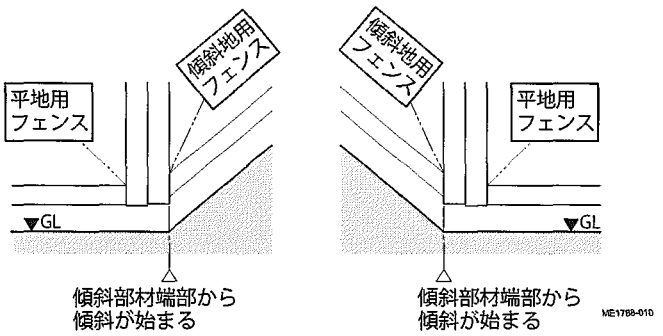
●縦桟を取外し、フェンス本体を傾斜させてください。

●角度調整後、再度、縦桟を取付けてください。

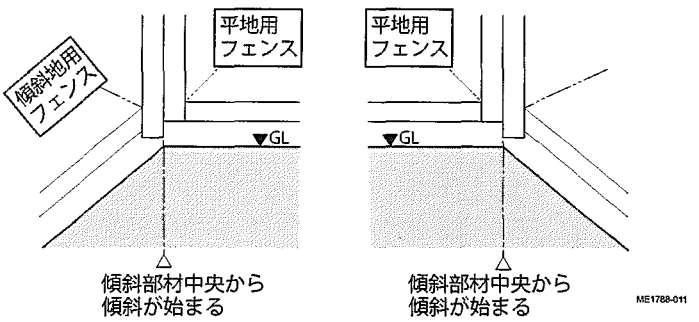


傾斜部材と GL ラインについて

●平地～上り傾斜に連結する場合は、GL ラインと傾斜部材の位置は下図のようになります。



●平地～下り傾斜に連結する場合は、GL ラインと傾斜部材の位置は下図のようになります。



納まり図

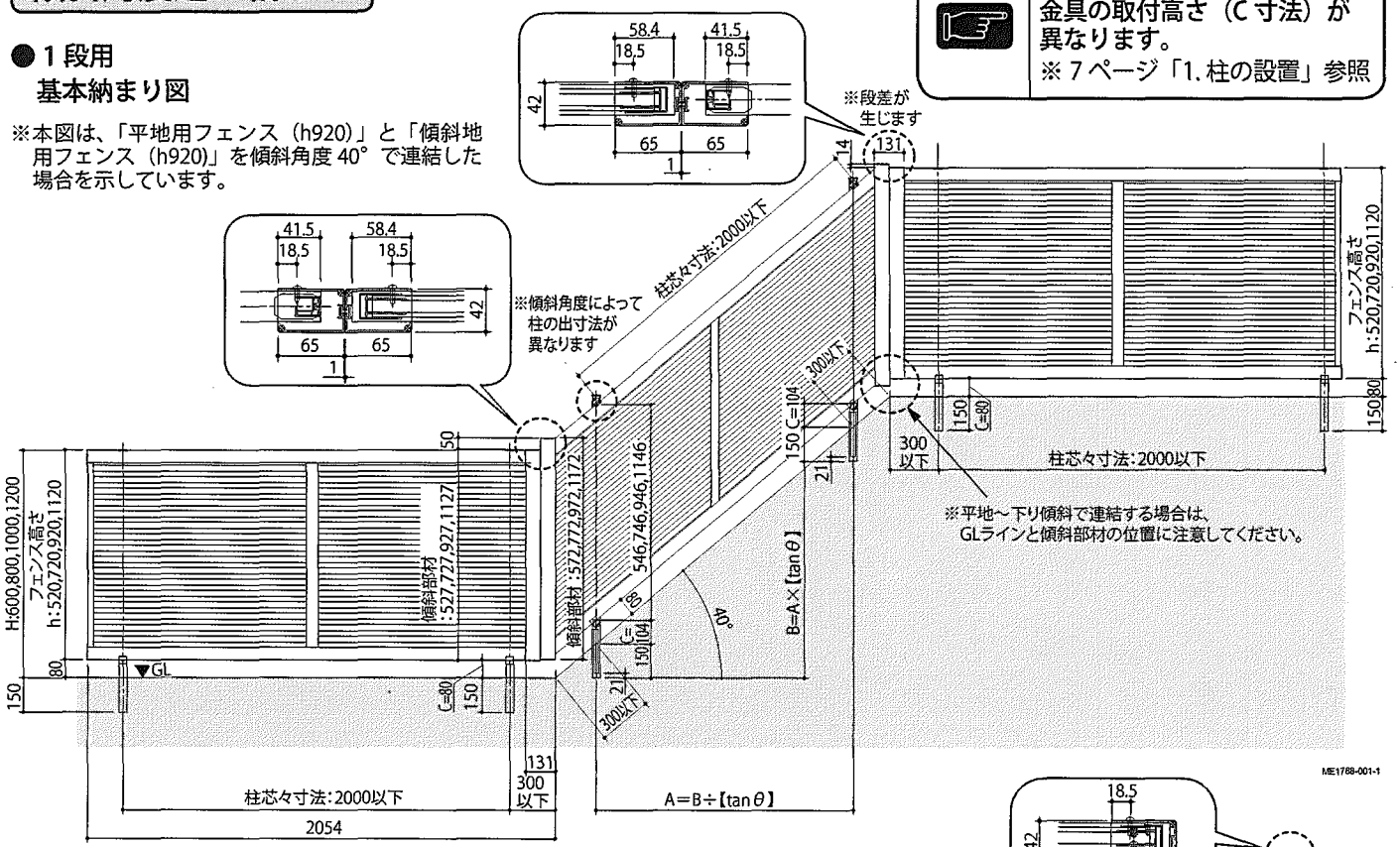
●施工前に必ず確認してください。
●傾斜角度 0 ～ 40° まで施工可能です。

傾斜角度違い納まり

傾斜角度によって、下部固定金具の取付高さ（C 寸法）が異なります。
※ 7 ページ「1. 柱の設置」参照

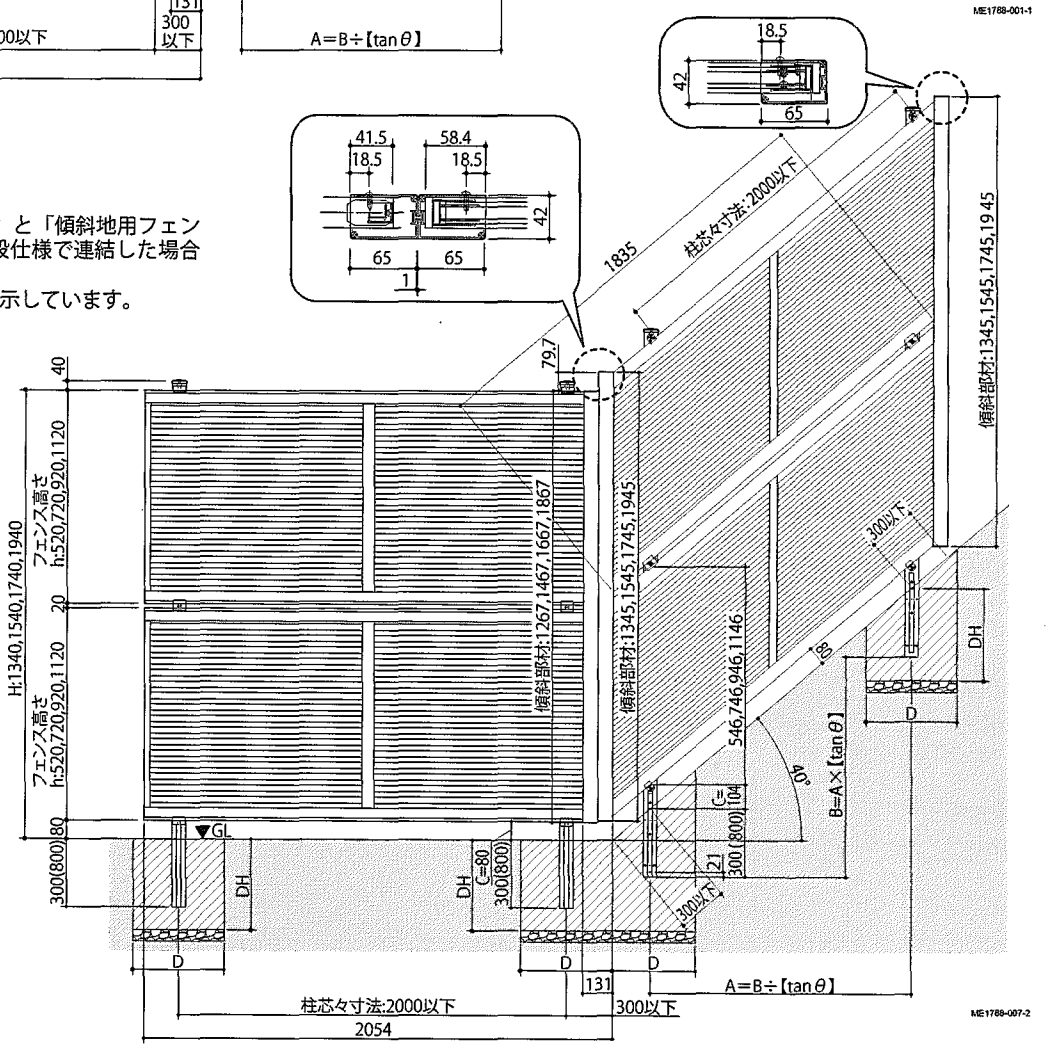
● 1 段用
基本納まり図

※本図は、「平地用フェンス（h920）」と「傾斜地用フェンス（h920）」を傾斜角度 40° で連結した場合を示しています。



● 2・3 段用
基本納まり図

※本図は、「平地用フェンス（h920）」と「傾斜地用フェンス（h920）」を傾斜角度 40° で 2 段仕様で連結した場合を示しています。
※（ ）内寸法は、3 段仕様の場合を示しています。



※基礎寸法表 (mm)

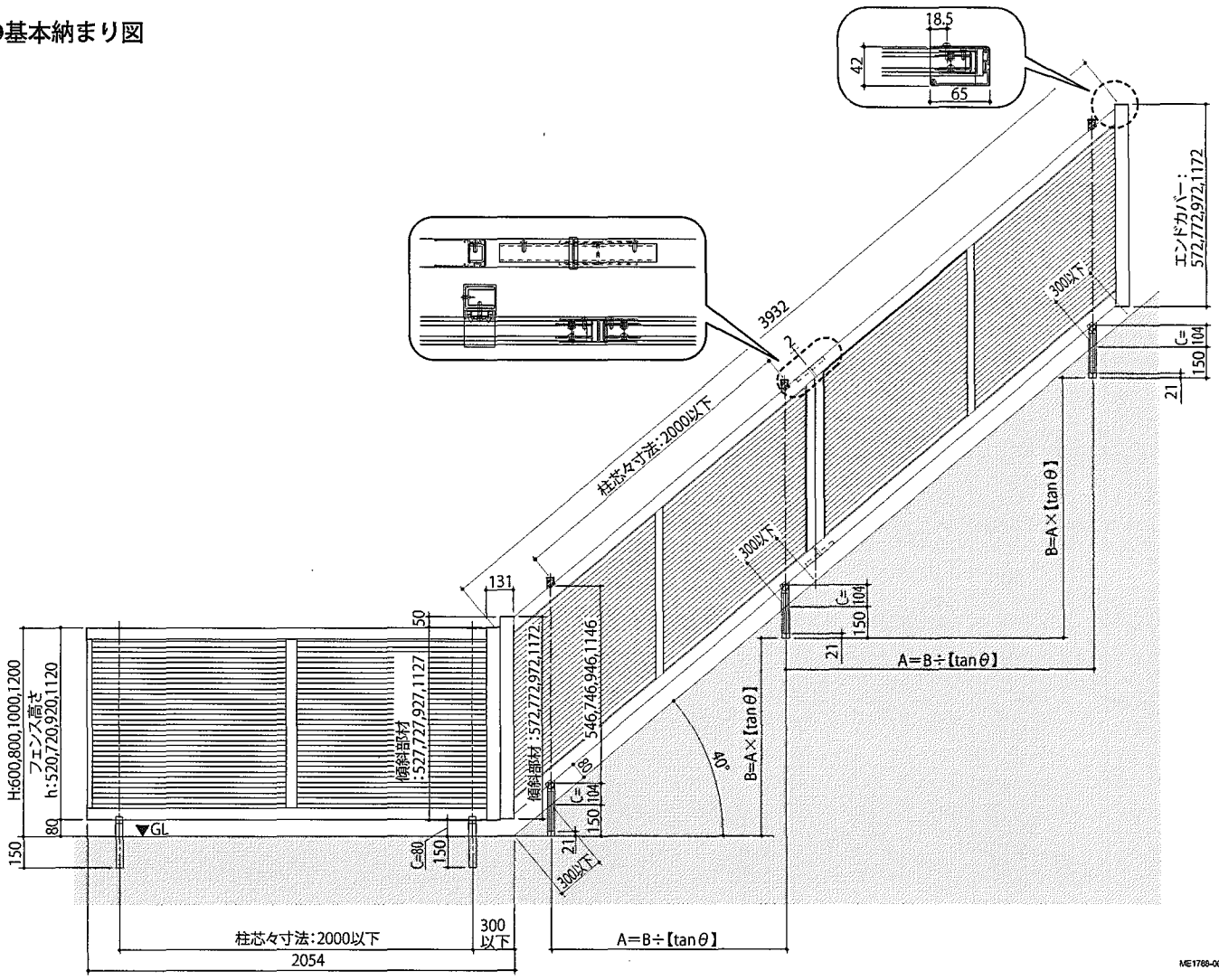
呼称サイズ		寸法 基礎：D ×深さ：DH
2段用	H14	□ 400 × 500
	H16	□ 400 × 550
	H18	□ 400 × 650
	H20	□ 400 × 700
3段用	H21	□ 400 × 800
	H23	□ 500 × 800
	H25	□ 500 × 800
	H27	□ 600 × 800
	H29	□ 600 × 800

※角度に係わらず、柱の埋込み寸法は一定です。

傾斜連結納まり

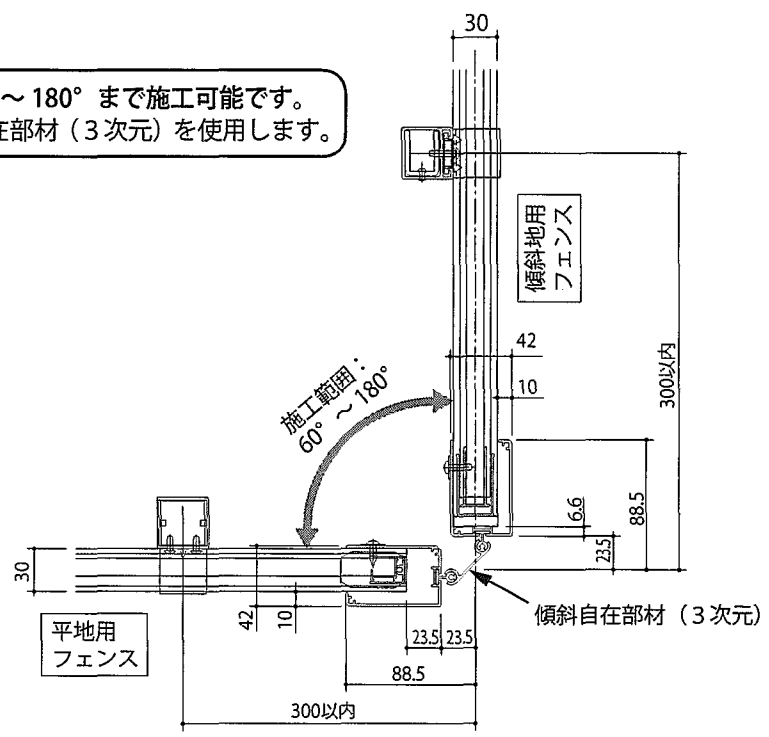
※本図は、「平地用フェンス（h920）」と「傾斜地用フェンス（h920）」を傾斜角度 40° で連結し、「傾斜地用フェンス」を２連結とし、端部にエンドカバーを納めた例です。

●基本納まり図



コーナー部平面図

コーナー部は、60° ～180° まで施工可能です。
※連結部に、傾斜自在部材（３次元）を使用します。



1 柱の設置

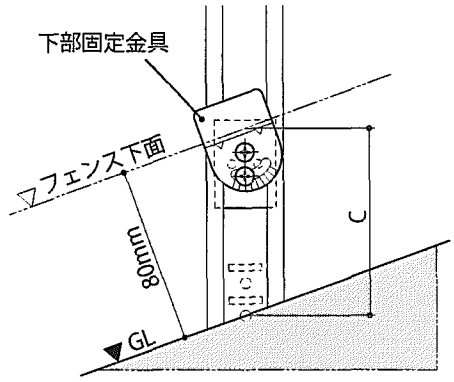
●「納まり図」で寸法を確認してください。
●柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

1－1 自在柱の調整

傾斜角度によって、下部固定金具の取付高さが異なります。
※ C 寸法参照

GL 面とフェンス下面との距離は 80mm となります。

●下部固定金具の取付高さ



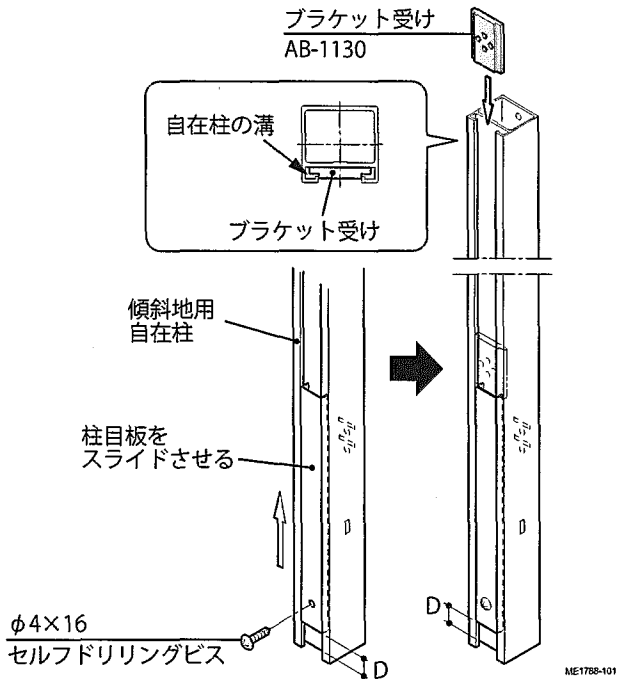
①寸法表を参照して、柱目板を D 寸法の位置にスライドしてください。

柱目板は結束テープで固定されています。

下表に合わせると 80mm の間隔をだすことができます。

●傾斜角度別：D 寸法表 (mm)

角度	D 寸法	角度	D 寸法	角度	D 寸法	角度	D 寸法
0～10°	0	11°～15°	2	21°	5	31°	12
				22°		32°	13
				23°	6	33°	
				24°	7	34°	14
				25°		35°	15
		16°	3	26°	8	36°	17
		17°		27°	9	37°	18
		18°	4	28°		38°	19
		19°		29°	10	39°	20
		20°		30°	11	40°	21



②柱目板をビスで固定してください。

③ブラケット受けを柱目板の上端まで挿入してください。

ブラケット受け：1 枚挿入

1－2 柱の設置

①「納まり図」で柱の位置・基礎寸法を確認し、柱を設置してください。

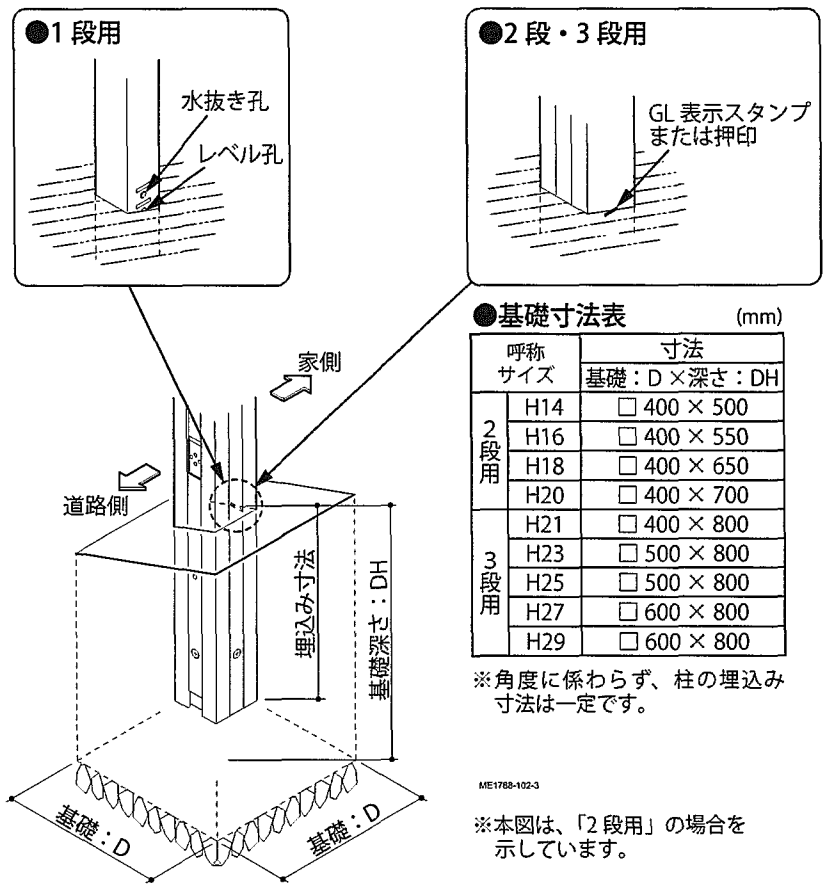
●柱位置：
端部・傾斜角度違い連結部より300mm 以内
※ただし、傾斜部材の見付寸法部には柱を設置することはできません。
●柱間隔：2000mm 以内
※ただし、風当りの強い場所に設置する場合は、柱間隔を 1000mm 以内にしてください。

地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置をきめてください。

埋込み寸法：
・1 段用：150mm
・2 段用：300mm
・3 段用：800mm
※傾斜角度に係わらず各柱の埋込み寸法は一定です。

柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

●柱の埋込み



●基礎寸法表 (mm)

呼称サイズ		寸法 基礎：D ×深さ：DH
2段用	H14	□ 400 × 500
	H16	□ 400 × 550
	H18	□ 400 × 650
	H20	□ 400 × 700
3段用	H21	□ 400 × 800
	H23	□ 500 × 800
	H25	□ 500 × 800
	H27	□ 600 × 800
	H29	□ 600 × 800

※角度に係わらず、柱の埋込み寸法は一定です。

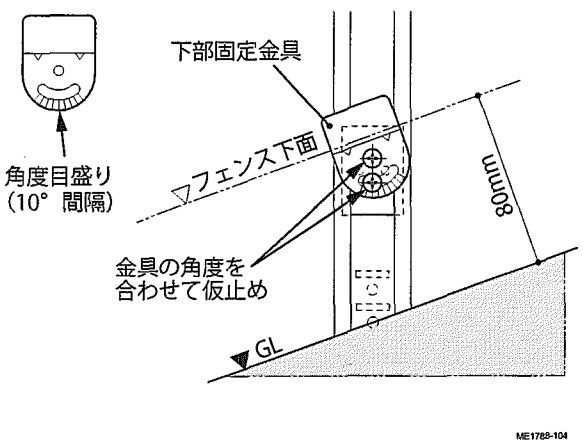
※本図は、「2 段用」の場合を示しています。

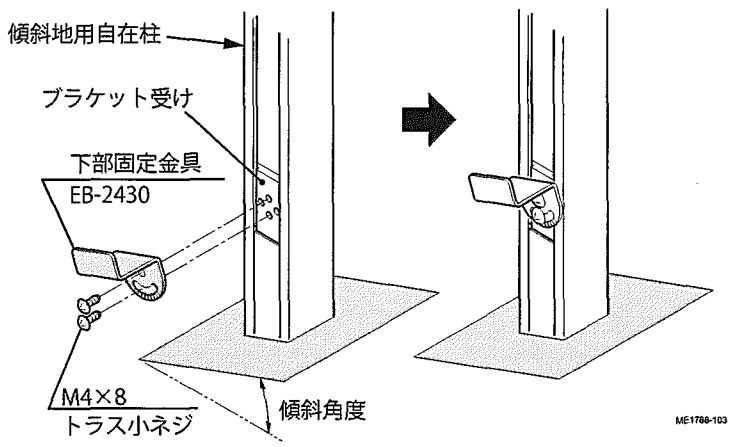
1－3 下部固定金具の仮止め

①図の要領で、下部固定金具を自在柱に仮止めしてください。

金具には角度目盛り（10° 間隔）がありますので、目安にしてください。

本締めは、フェンスの取付け後に行ってください。





2 傾斜部材の切断
（※傾斜角度違い納まり・コーナー自在納まりの場合）

●傾斜部材は、傾斜角度が異なるフェンスの連結部に必ず使用します。
●傾斜角度に係わらず、傾斜部材の切断が必要です。
●傾斜部材は、出荷時にはバラの状態で梱包されています。切断後に組立ててください。

2－1 傾斜部材の切断

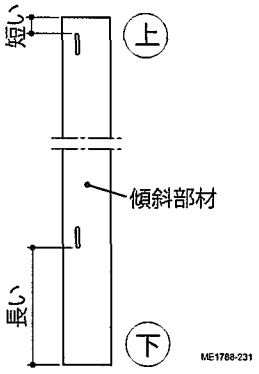
2-1-1 切断前の確認

●傾斜部材には、上・下の区別があります。（加工孔の位置で区別してください。）
●傾斜部材には、家側・道路側の区別があります。（形材の断面で区別してください。）

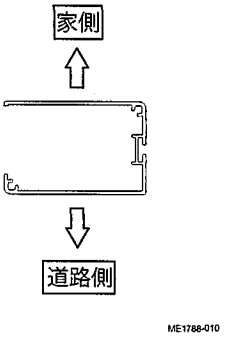
傾斜角度および柱仕様により、切断寸法が異なります。

「標準」と「下部ふさぎ板付き」とでは、切断寸法が異なります。
※「下部ふさぎ板」については、「下部ふさぎ板・目隠しカバー」の取付説明書 [ME-1792] を参照してください。

●傾斜部材の上・下



●傾斜部材の家側・道路側



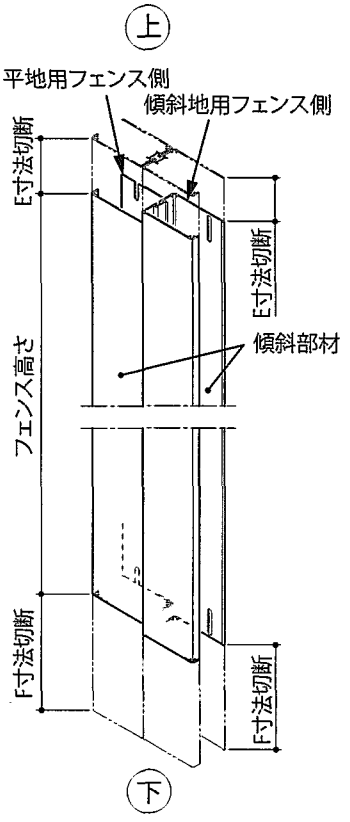
2-1-2 標準の切断方法

①下表で寸法を確認して、傾斜部材の上下を切断してください。

●切断寸法表 (mm)

傾斜角度（θ）	切断寸法					
	1段用		2段用		3段用	
	E	F	E	F	E	F
0°	32	170	48	186	64	202
1～5°	29	167	46	184	60	198
6～10°	26	164	43	181	57	195
11～15°	24	162	39	177	52	190
16～20°	21	159	35	173	47	185
21～25°	18	156	30	168	40	178
26～30°	16	154	24	162	32	170
31～35°	13	151	18	156	22	160
36～40°	9	147	9	147	9	147

切断面で手や指を切らないように注意してください。



2-1-3 下部ふさぎ板付きの場合の切断方法

①前ページを参照して、傾斜部材の上部を切断してください。

上部の切断寸法は、「標準」と同じです。

②下表で寸法を確認して、傾斜部材の下部を切断してください。

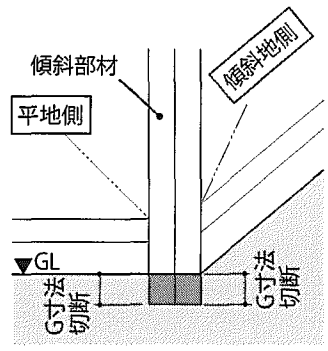
切断面で手や指を切らないように注意してください。

●平地～上り傾斜となる場合は、平地側・傾斜地側とも水平に切断してください。
●平地～下り傾斜となる場合は、傾斜地側の下部を斜めに切断してください。

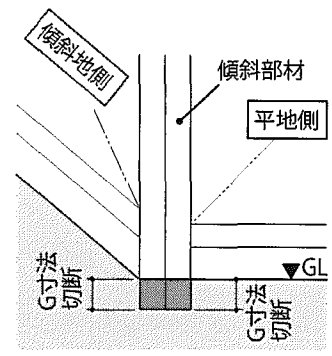
●切断寸法表（平地～上り傾斜）　(mm)

傾斜角度（θ）	切断寸法		
	1段用	2段用	3段用
	G	G	G
0°	97	114	128
1～5°	97	114	128
6～10°	97	114	128
11～15°	97	114	126
16～20°	97	110	121
21～25°	93	104	113
26～30°	87	96	102
31～35°	79	84	87
36～40°	69	71	69

●平地～右上り傾斜



●平地～左上り傾斜

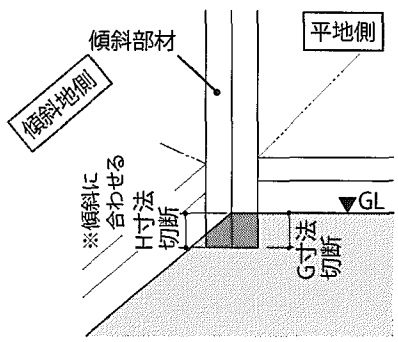


ME1788-245

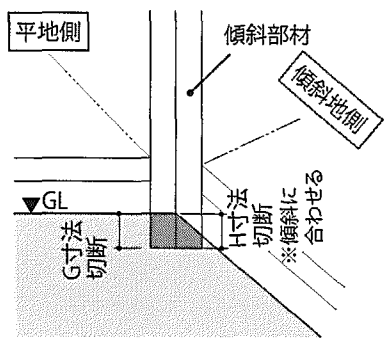
●切断寸法表（平地～下り傾斜）　(mm)

傾斜角度（θ）	切断寸法					
	1段用		2段用		3段用	
	G	H	G	H	G	H
1～5°	97	94	114	110	128	127
6～10°	97	97	114	112	128	125
11～15°	97	97	114	112	126	125
16～20°	97	100	110	112	121	125
21～25°	93	100	104	112	113	122
26～30°	87	100	96	110	102	116
31～35°	79	100	84	105	87	109
36～40°	69	100	71	100	69	100

●平地～左下り傾斜



●平地～右下り傾斜

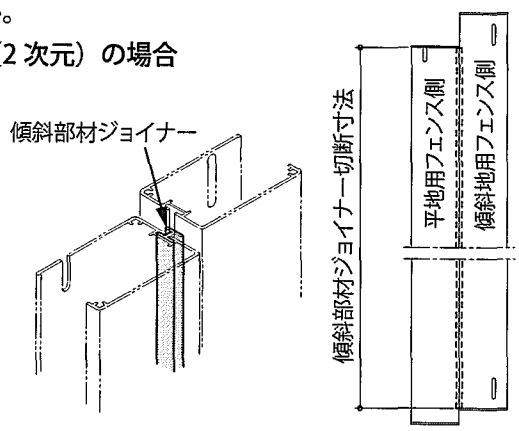


ME1788-244

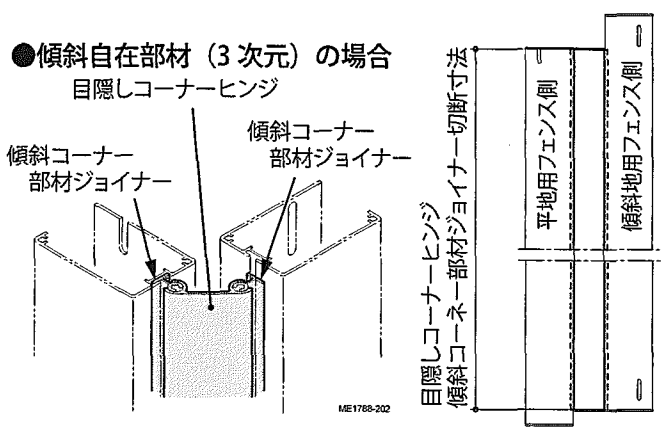
2－2 ジョイント部材の切断

①図を参照して、ジョイント部材を切断してください。

●傾斜部材（2次元）の場合



●傾斜自在部材（3次元）の場合

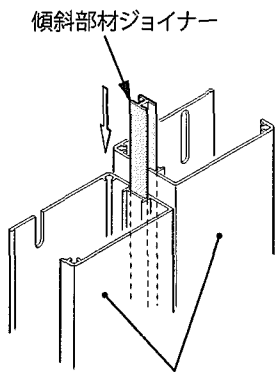


ME1788-202

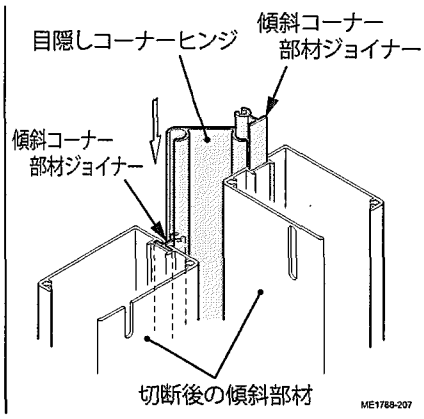
2－3 傾斜部材の組立て

①傾斜部材にジョイント部材を差し込んでください。

●傾斜部材（2次元）の場合



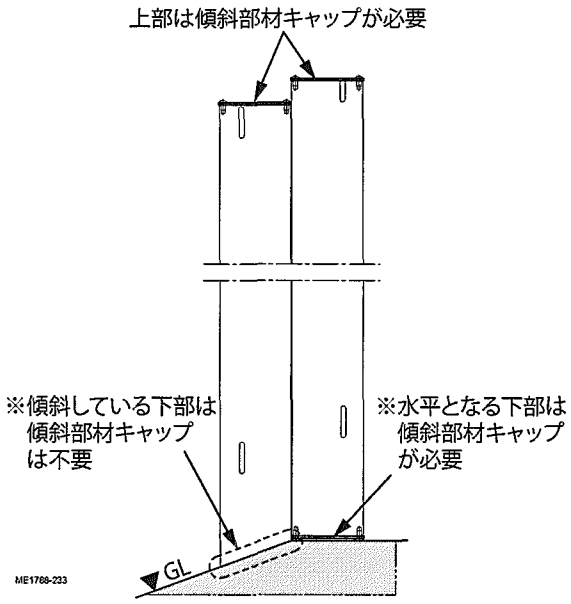
●傾斜自在部材（3次元）の場合



②傾斜部材キャップを傾斜部材に取付けてください。

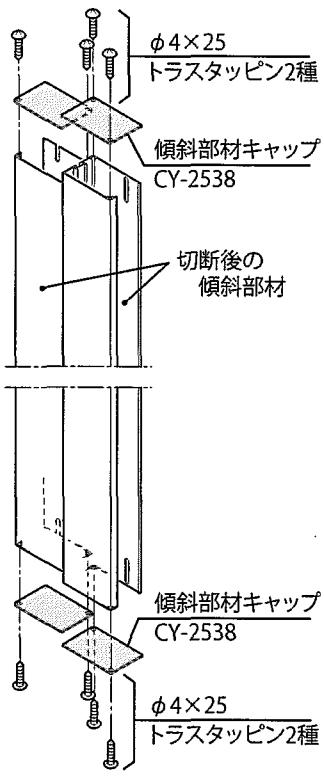
「下部ふさぎ板付き」の場合、傾斜している下部には、傾斜部材キャップは不要です。

●「下部ふさぎ板付き」の場合

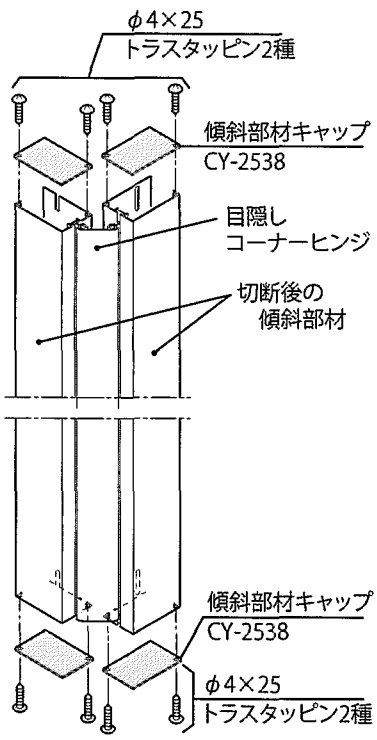


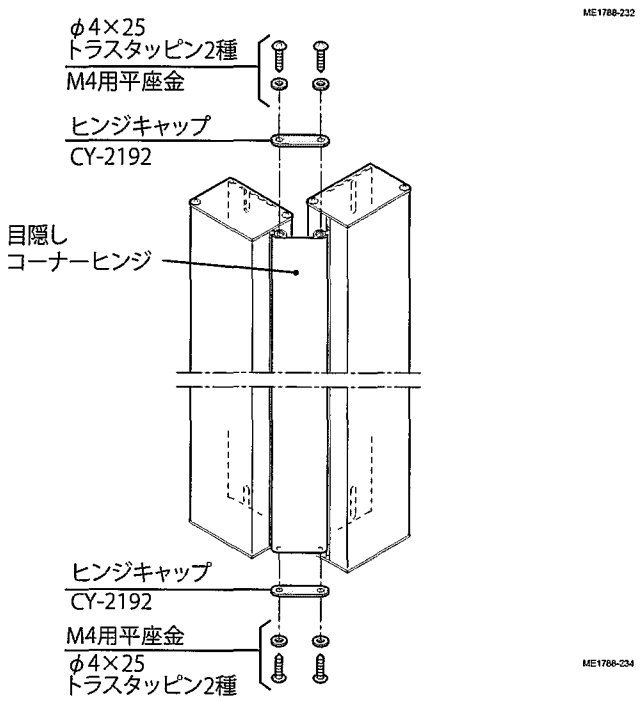
③傾斜自在部材（3次元）の場合は、ヒンジキャップを傾斜自在部材の目隠しコーナーヒンジに取付けてください。

●傾斜部材（2次元）の場合



●傾斜自在部材（3次元）の場合





3 フェンス取付け前の作業

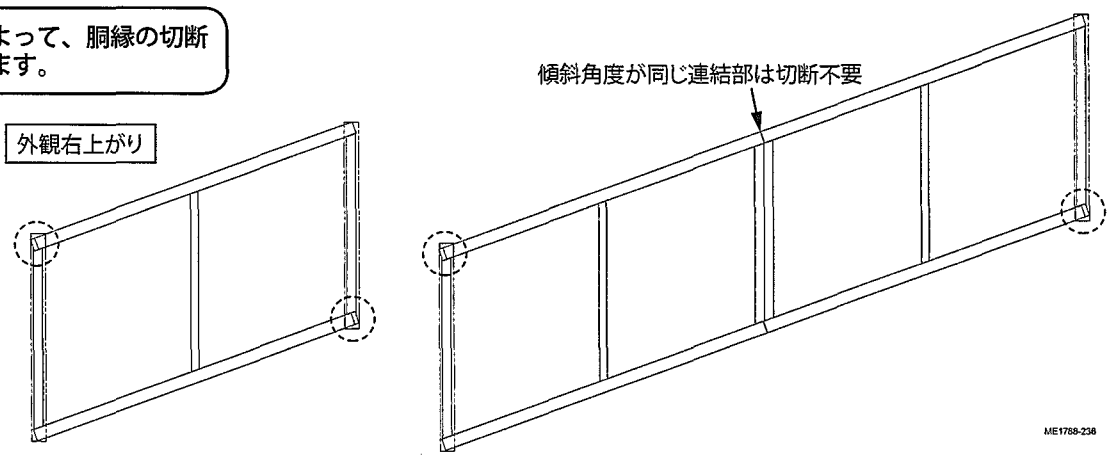
3－1 上下胴縁の切断

傾斜の方向によって、胴縁の切断位置が異なります。

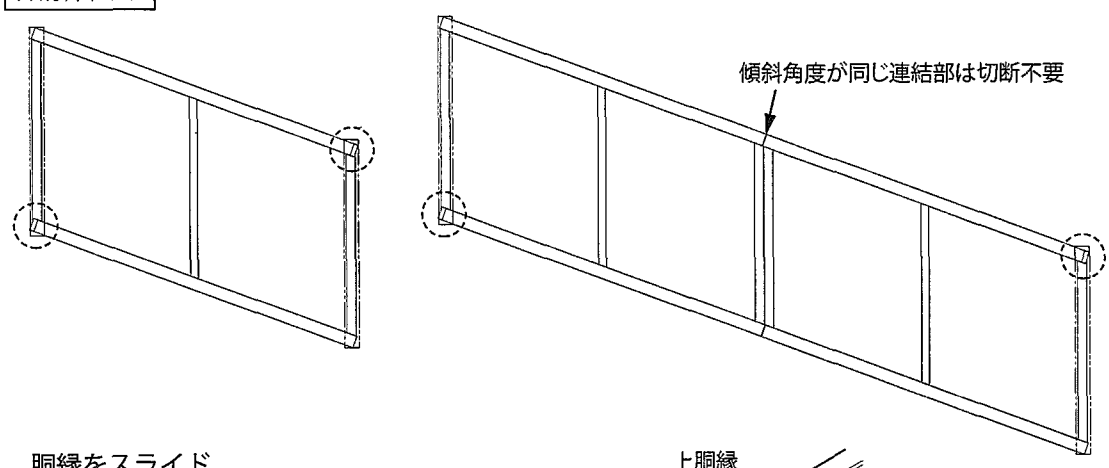
●上下胴縁切断位置

※◌部分を切断してください。

外観右上がり



外観右下がり

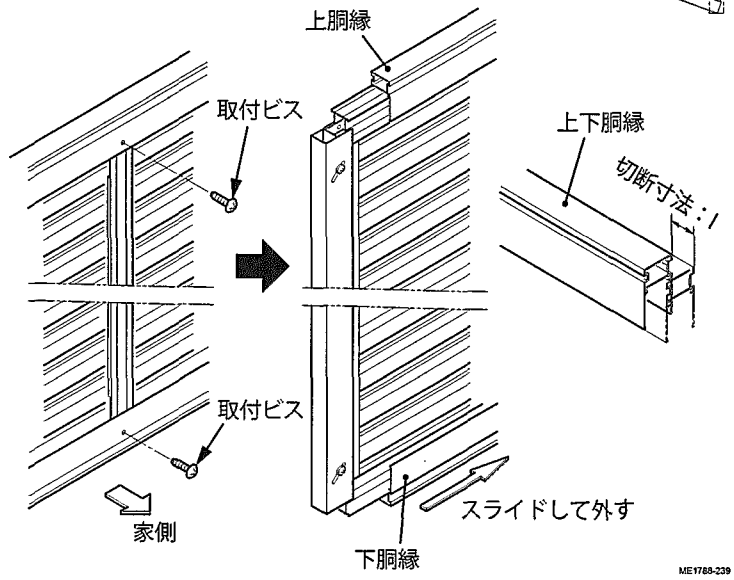


①胴縁の取付ビスを外し、胴縁をスライドさせて外してください。

②下表を参照して、フェンスの上・下胴縁を切断してください。

●胴縁切断寸法表 (mm)

傾斜角度（θ）	切断寸法：l
0°	0
1～5°	3
6～10°	5
11～15°	8
16～20°	11
21～25°	14
26～30°	17
31～35°	20
36～40°	24



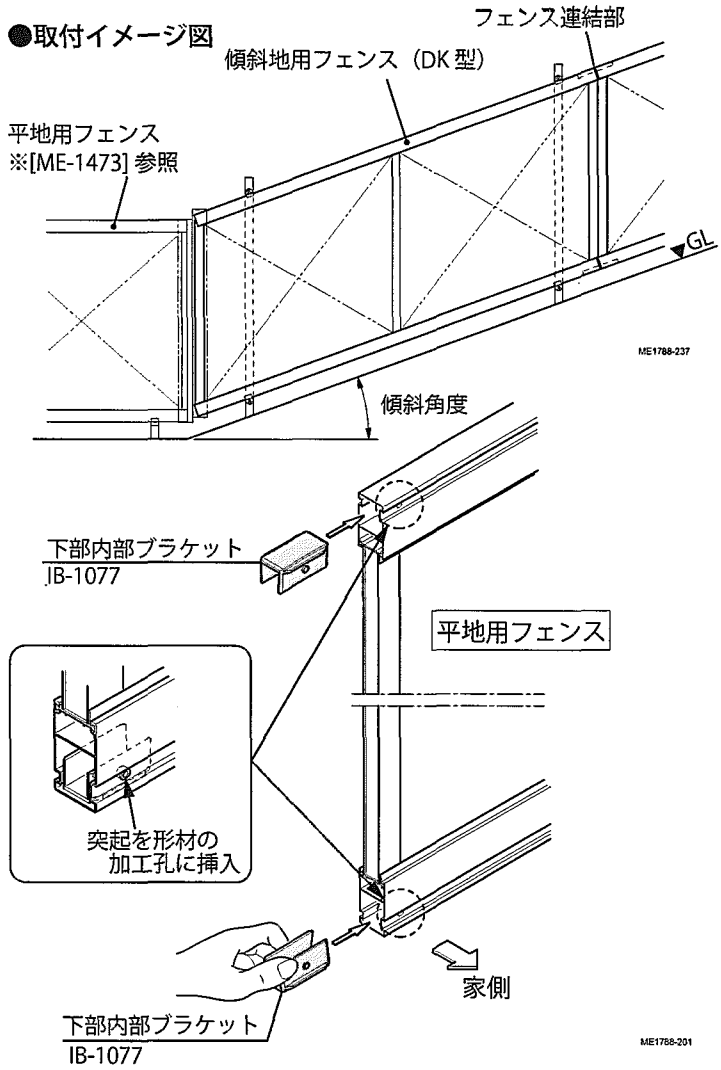
③胴縁をスライドさせて元に戻し、再度、ビスで固定してください。

4a フェンスの取付け（※１段用の場合）

●「2・3段用」の場合は、「4b. フェンスの取付け（2・3段用の場合」を参照してください。

●フェンスには上・下、表・裏があります。
●フェンスの施工角度範囲は、0°～40°です。
●平地用フェンスの施工方法については、[ME-1473] を参照してください。
※４ページの「施工前の確認」を参照してください。

●取付イメージ図



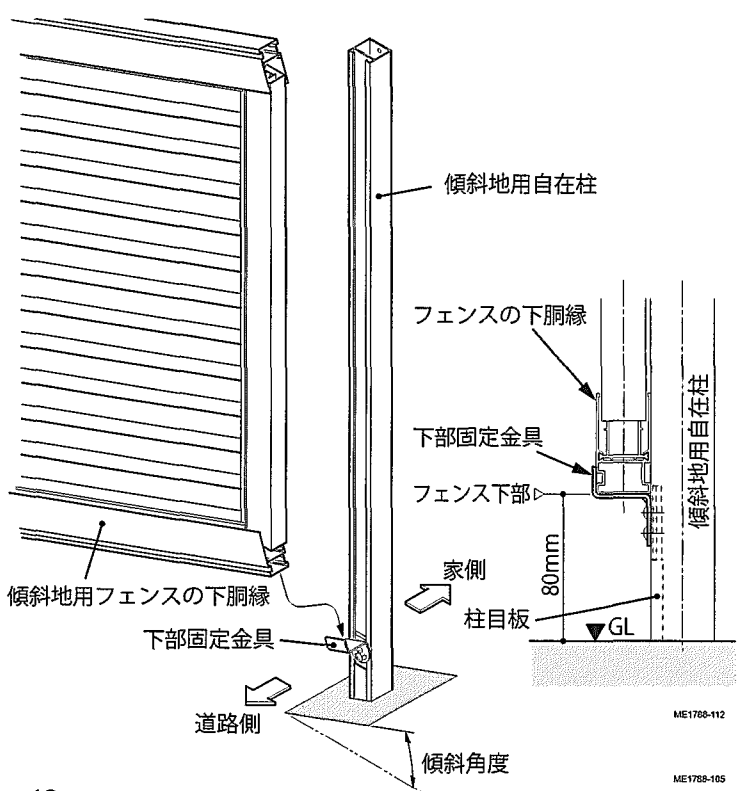
4a－1 平地用フェンスへのブラケットの取付け

「平地用フェンス」にはブラケットを取付けてください。

①下部内部ブラケットを平地用フェンスの上下胴縁に差し込んでください。

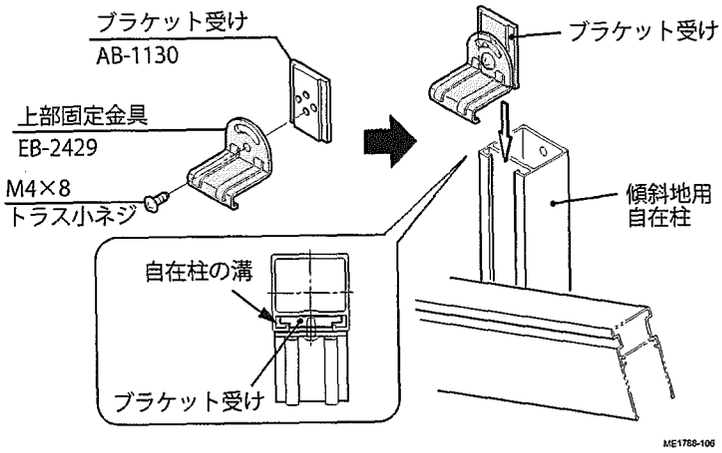
4a－2 フェンスの取付け

①フェンス本体を、下部固定金具に載せてください。



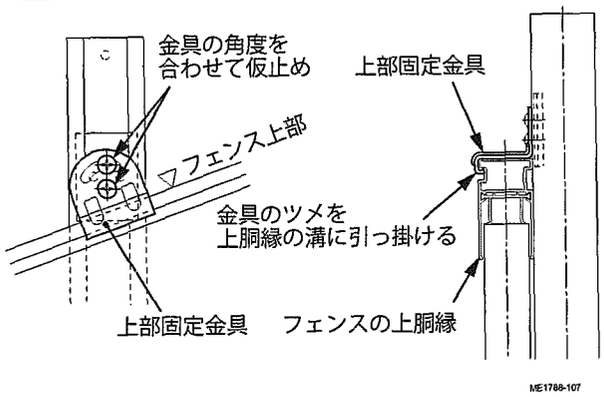
フェンスの取付け

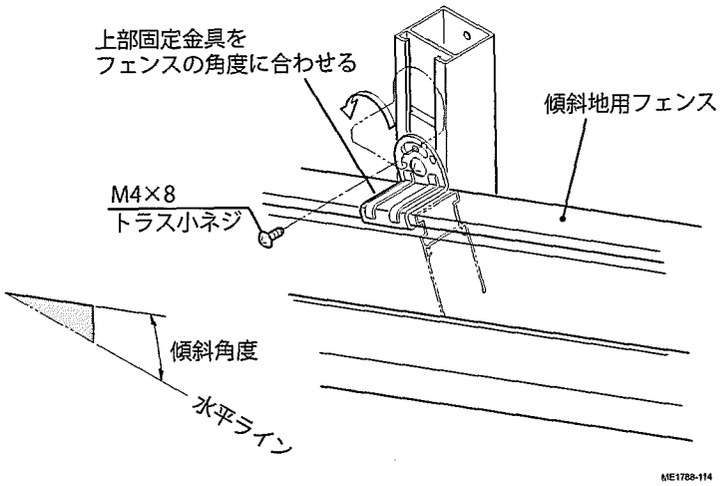
②ブラケット受けと上部固定金具を仮組みし、柱の溝に差し込んでください。



③フェンスの上端に合わせて、上部固定金具を仮止めしてください。

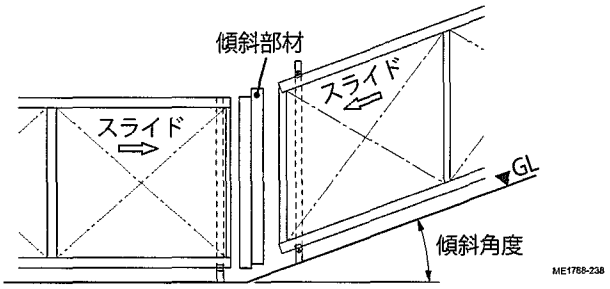
本締めは、フェンスの取付完了後に行ってください。





④フェンス本体を、傾斜部材または傾斜自在部材に差し込んで、ビスで固定してください。

⑤位置調整後、ビスを本締めしてください。

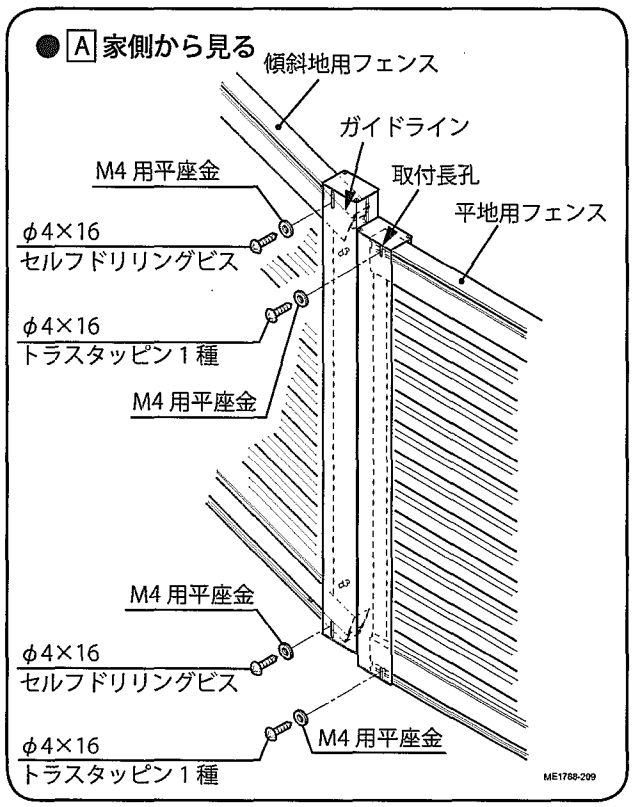


傾斜部材を持ち上げながら、フェンスが止まるまで確実にフェンスを差し込んでください。
※傾斜部材は、両側からフェンスを差し込むまでは上下にスライドし、位置が固定しません。

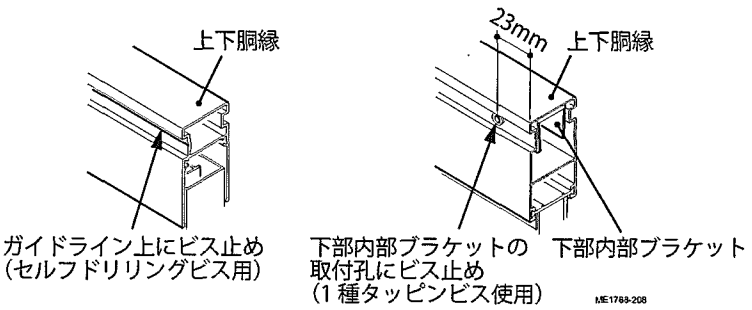
●傾斜角度違い納まりの場合

平地用フェンス
スライドさせる
傾斜部材
(切断済み)
A
家側
傾斜地用フェンス
スライドさせる
道路側
傾斜角度
水平ライン
ME1788-210

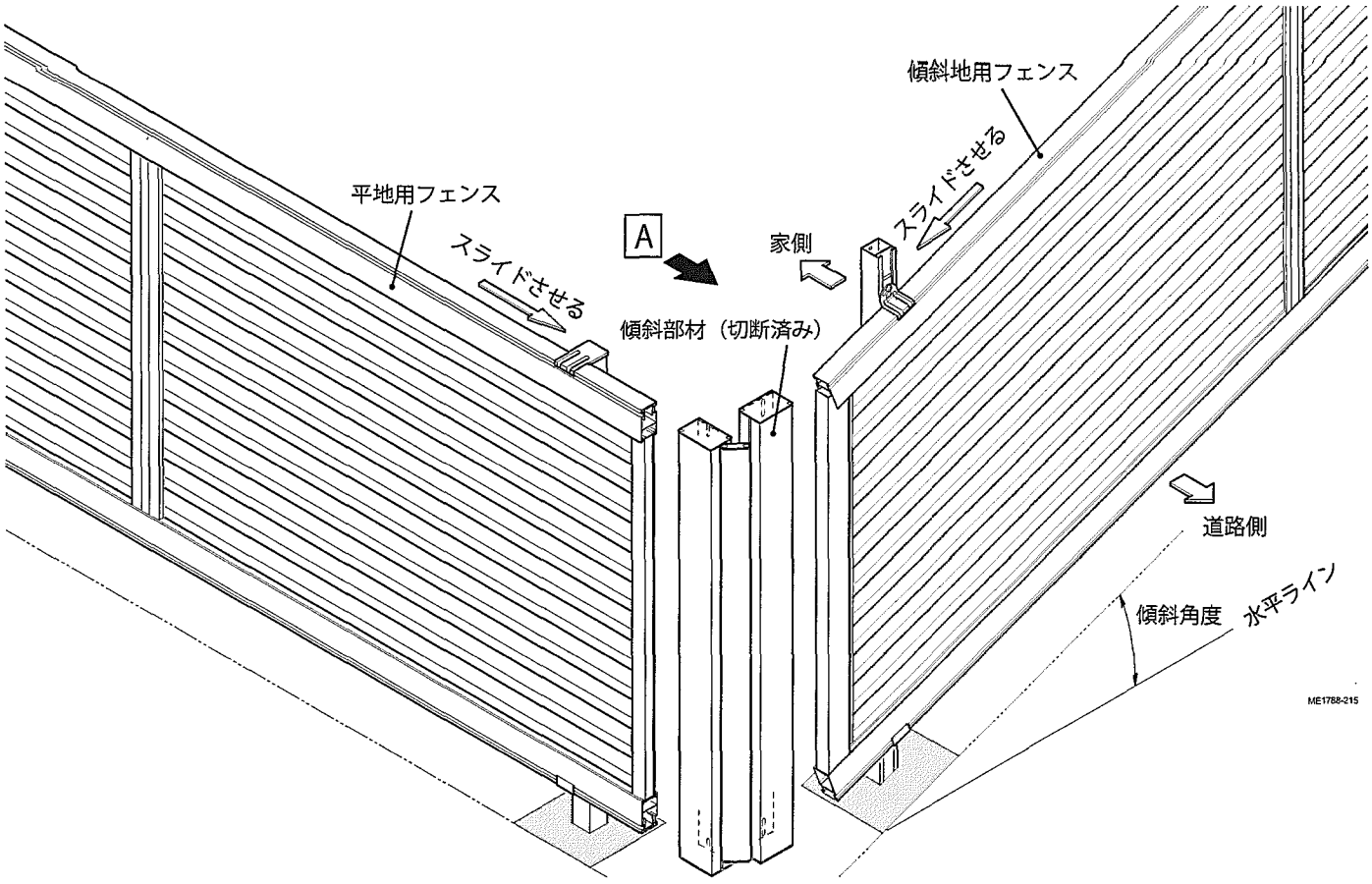
●A 家側から見る

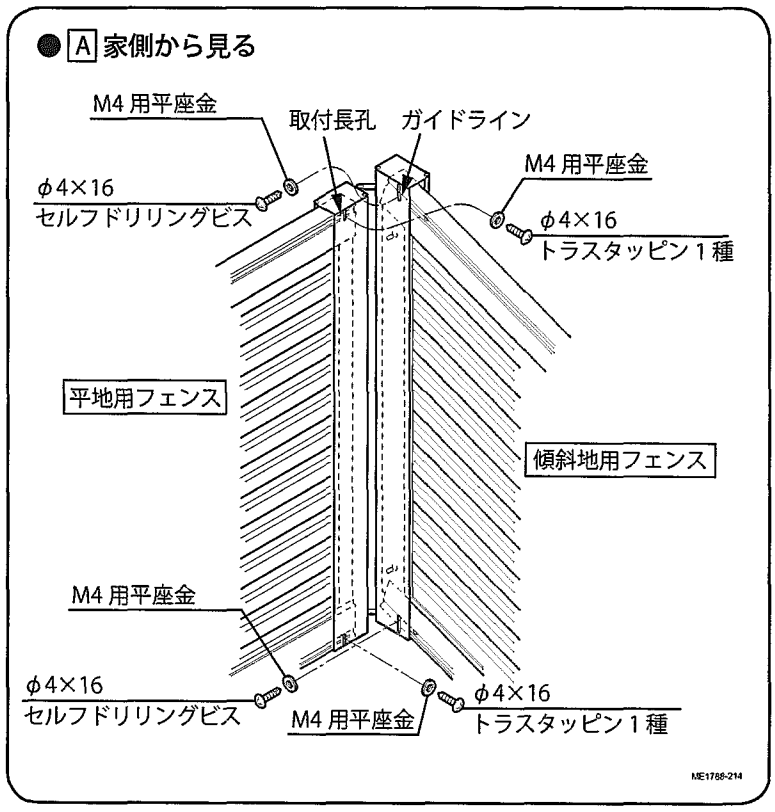


●傾斜地用フェンスの場合　●平地用フェンスの場合



●コーナー自在納まりの場合





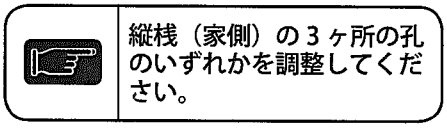
4a－3 フェンスの連結
（※傾斜角度が同じ納まりの場合）

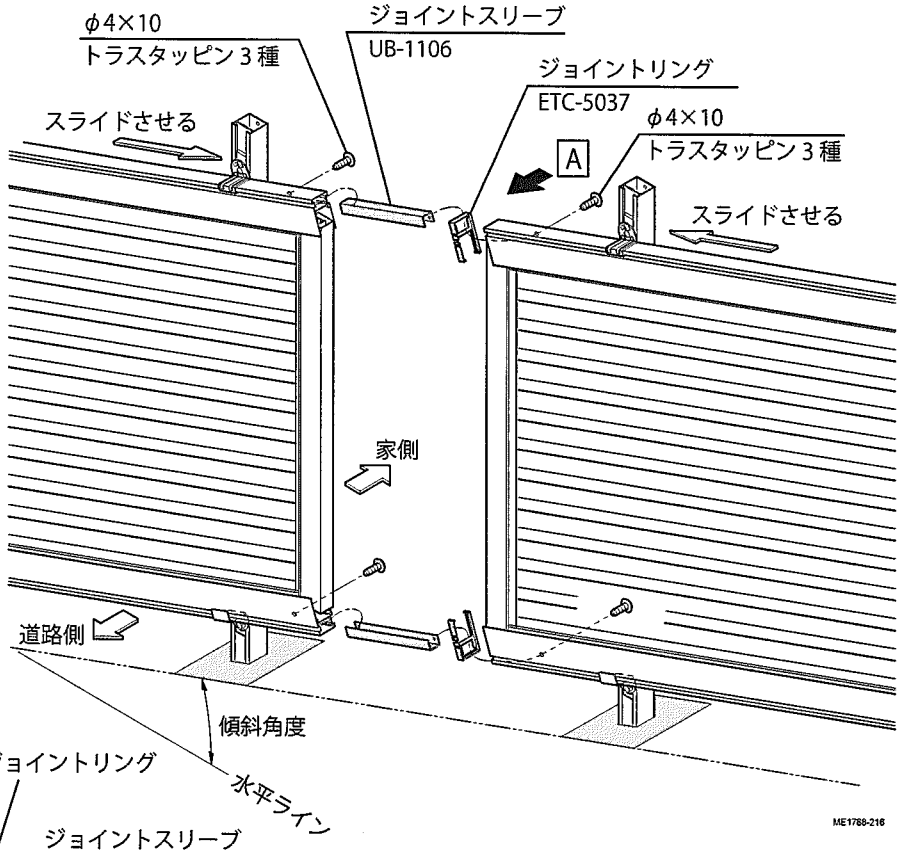
傾斜部材は使用しません。

①ジョイントスリーブを使用して、フェンスを連結してください。

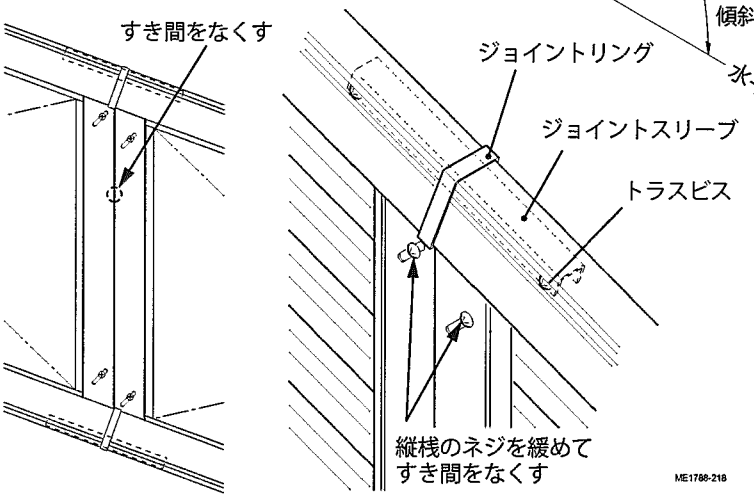
②フェンスの連結部上下にジョイントリングをはめ込んでください。

③連結部の縦桟のビスを緩めて、フェンス間のすき間を無くしてください。

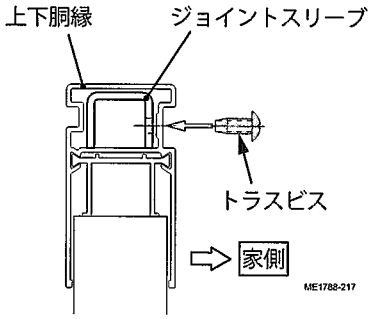

縦桟（家側）の３ヶ所の孔のいずれかを調整してください。



●A 家側から見る

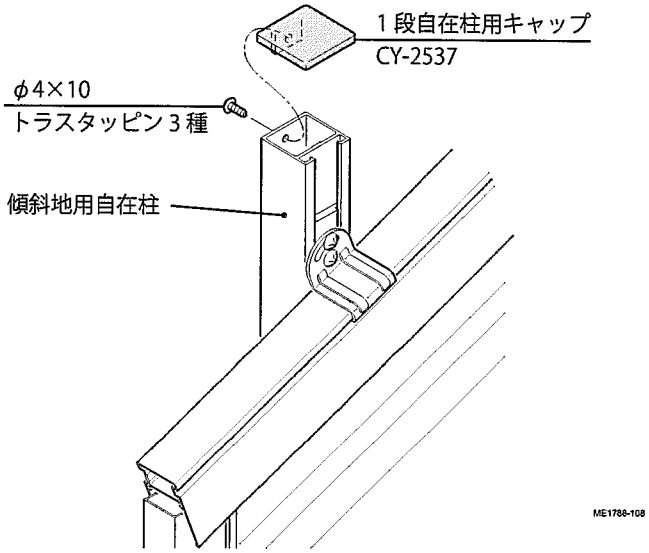


●ジョイントスリーブ部



4a－4 柱キャップの取付け

①１段自在柱用キャップを自在柱に取付けてください。



4b フェンスの取付け
（※２・３段用の場合）

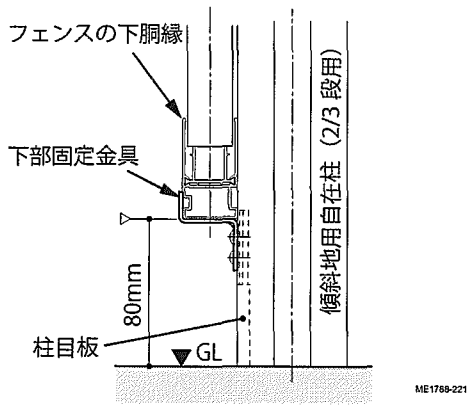
4b－1 平地用フェンスへのブラケットの取付け

「平地用フェンス」にはブラケットを取付けてください。

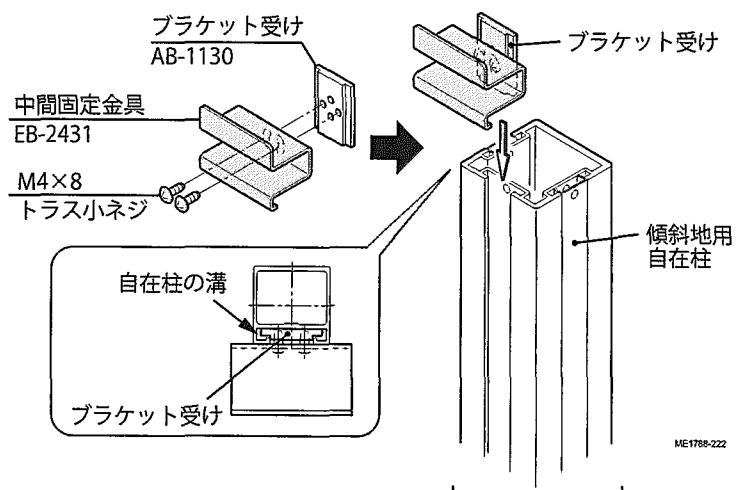
①13ページの「4a-1」を参照して、下部内部ブラケットを平地用フェンスに取付けてください。

4b－2 フェンスの取付け

①１段用の場合と同じ要領で、１段目のフェンス本体を下部固定金具に載せてください。（「4a-2」参照）

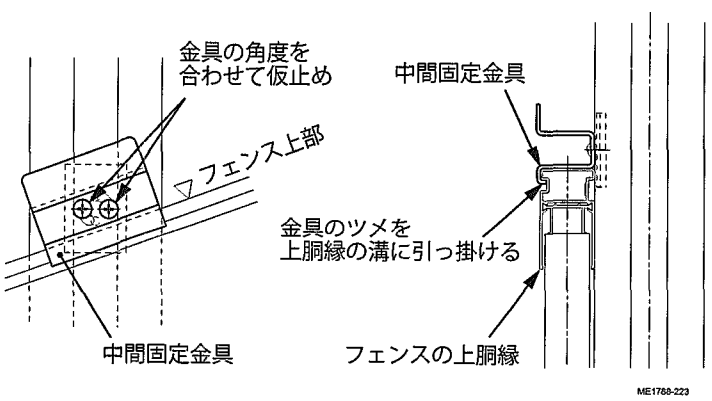


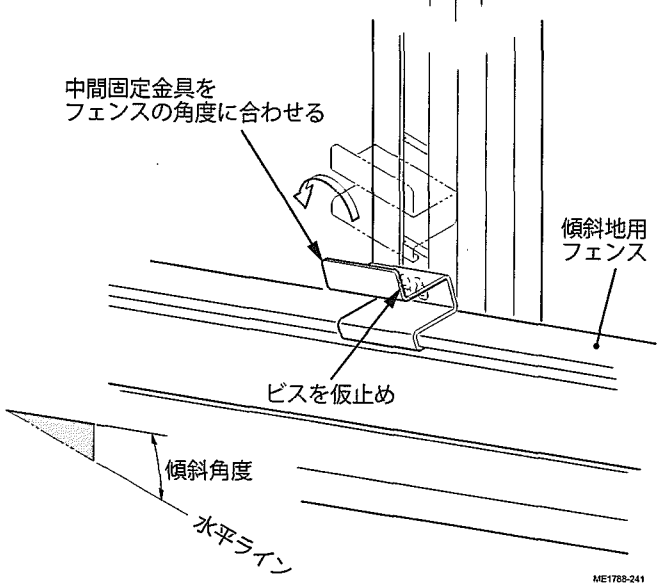
②ブラケット受けと中間固定金具を仮組みし、柱の溝に差し込んでください。



③フェンスの上端に合わせて、中間固定金具を仮止めしてください。

本締めは、フェンスの取付完了後に行ってください。



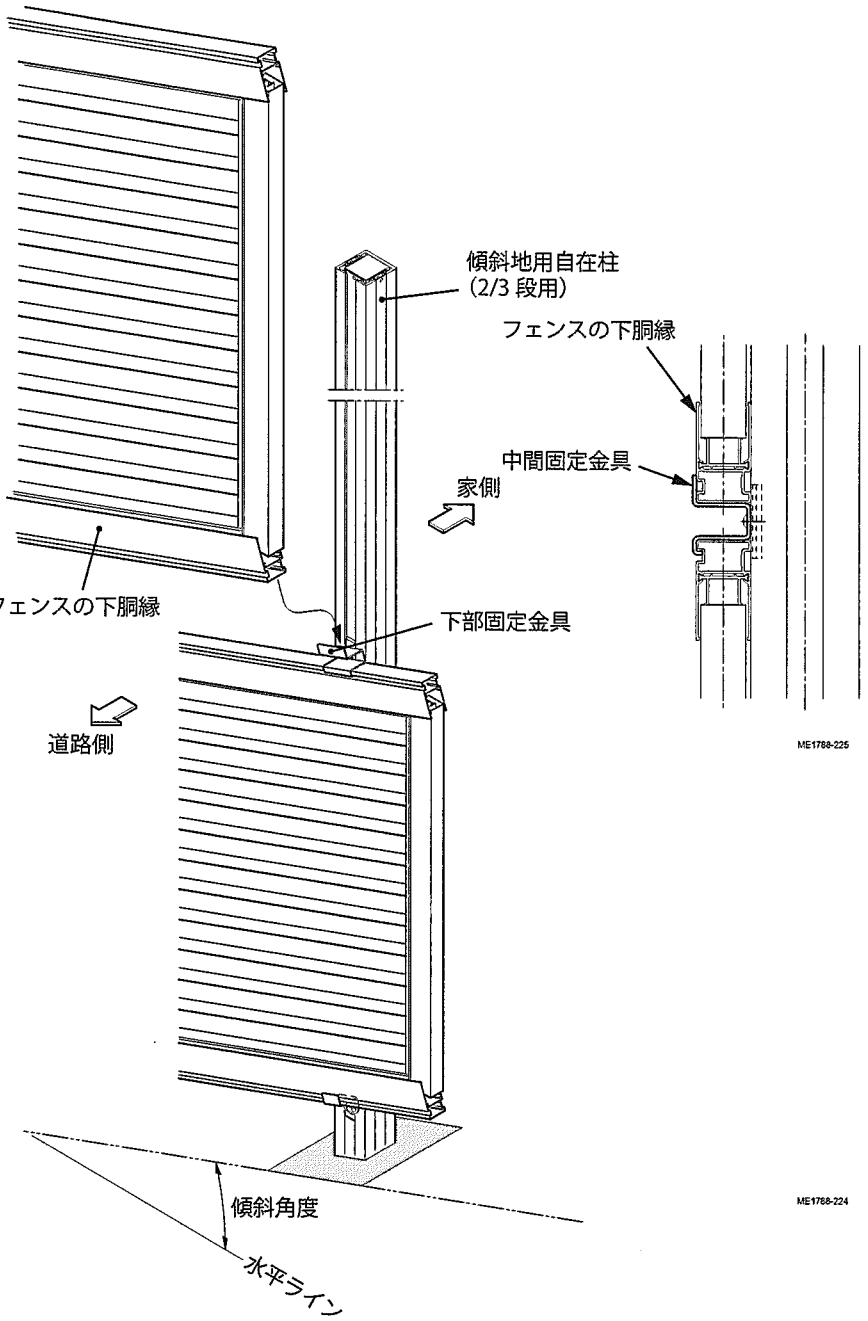


③2段目のフェンス本体を、中間固定金具の上に載せてください。

④3段用の場合は、2段目のフェンスの上端に合わせて、中間固定金具を仮止めしてください。

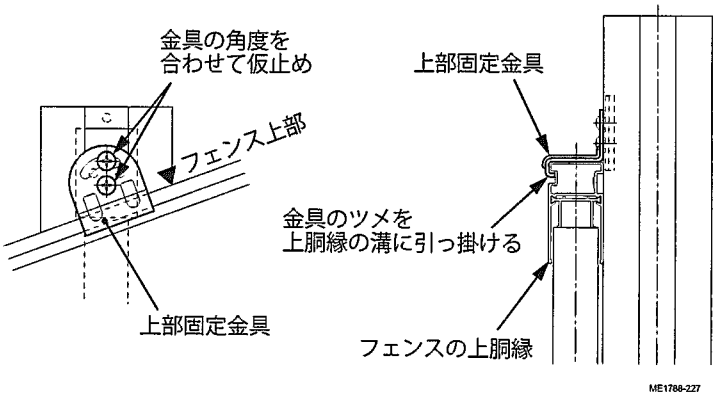
本締めは、フェンスの取付完了後に行ってください。

⑤3段用の場合は、3段目のフェンス本体を、中間固定金具の上に載せてください。



⑥「4a-2」を参照して、フェンスの上端に合わせて、上部固定金具を仮止めしてください。

本締めは、フェンスの取付完了後に行ってください。

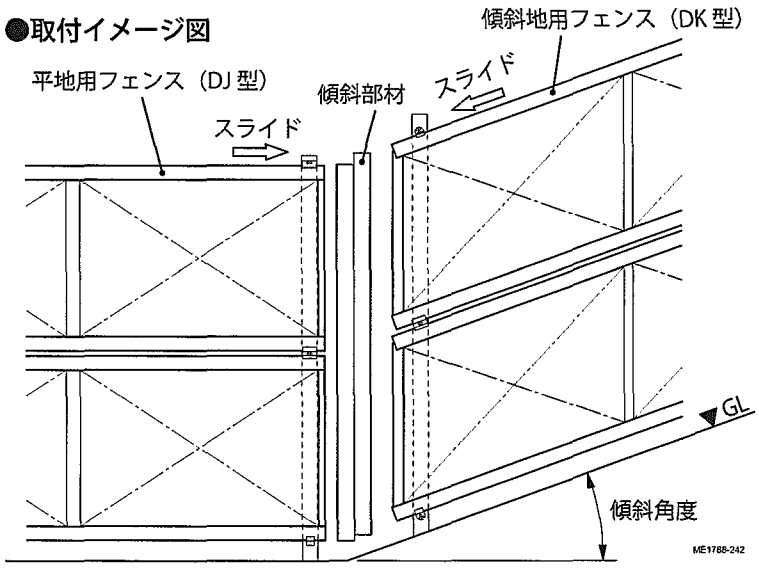


⑦フェンス本体を、傾斜部材または傾斜自在部材に差し込んで、ビスで固定してください。

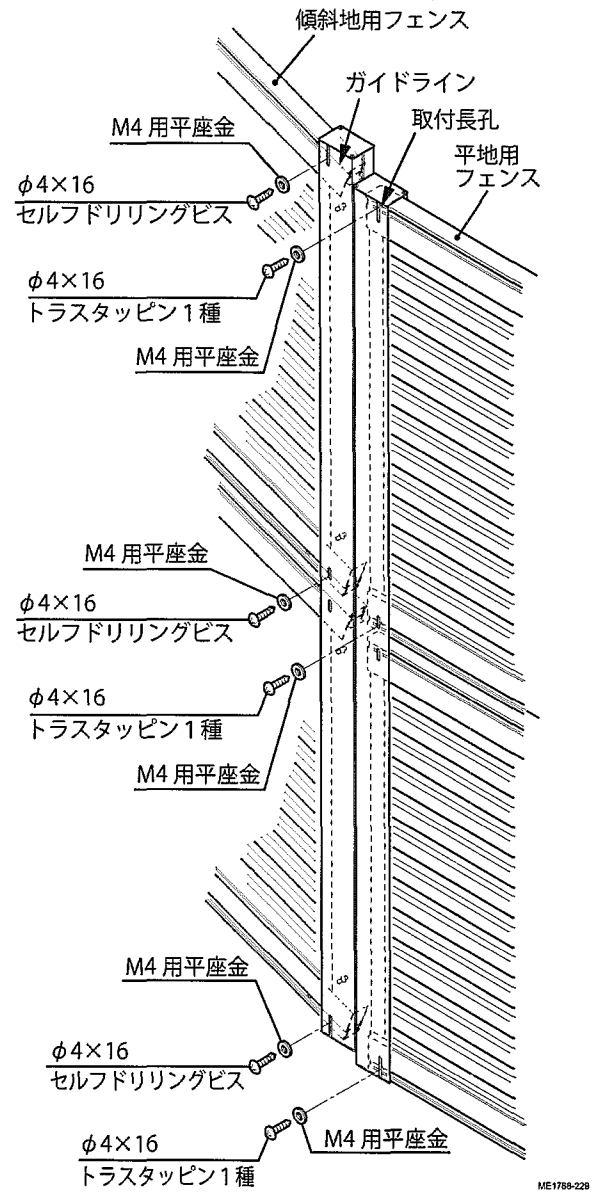
⑧位置調整後、ビスを本締めしてください。

傾斜部材を持ち上げながら、フェンスが止まるまで確実にフェンスを差し込んでください。
※傾斜部材は、両側からフェンスを差し込むまでは上下にスライドし、位置が固定しません。

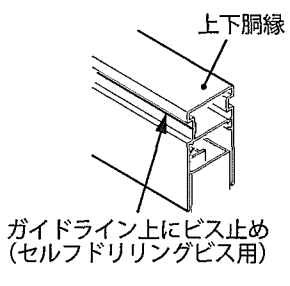
●取付イメージ図



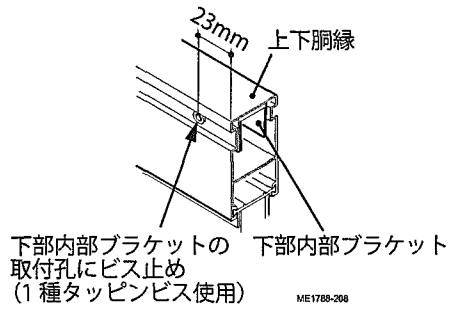
●家側から見る



●傾斜地用フェンスの場合



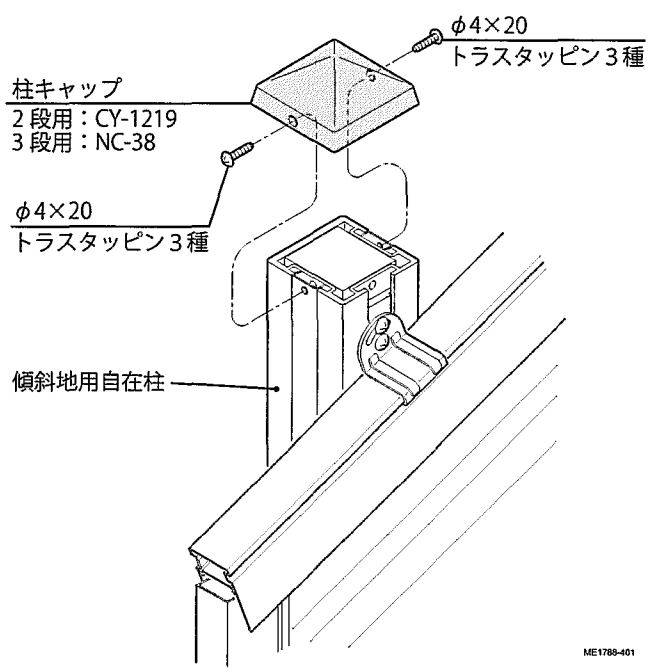
●平地用フェンスの場合



フェンスを連結する場合は、「4a-3」と同じ要領で連結してください。

4b－3 柱キャップの取付け

①柱キャップを自在柱に取付けてください。



5 エンドカバーの取付け
(傾斜地用フェンスが端部になる場合)

●傾斜地用フェンスが「端部納まり」となる場合に参照してください。

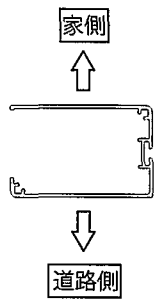
5－1 エンドカバーの切断

5-1-1 切断前の確認

エンドカバーには、家側・道路側の区別があります。
※形材の断面で区別してください。

「標準」と「下部ふさぎ板付き」とでは、切断寸法が異なります。
※「下部ふさぎ板」については、「下部ふさぎ板・目隠しカバー」の取付説明書[ME-1792]を参照してください。

●エンドカバーの家側・道路側

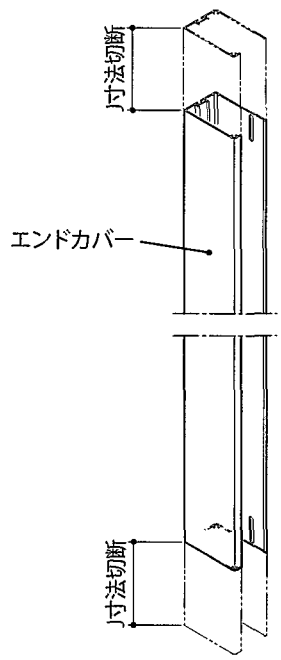


5-1-2 標準の切断方法

①下表で寸法を確認して、エンドカバーの上下を切断してください。

●切断寸法表 (mm)

傾斜角度(θ)	切断寸法：J		
	1段用	2段用	3段用
0°	170	186	202
1～5°	167	184	198
6～10°	164	181	195
11～15°	162	177	190
16～20°	159	173	185
21～25°	156	168	178
26～30°	154	162	170
31～35°	151	156	160
36～40°	147	147	147



切断面で手や指を切らないように注意してください。

5-1-3 下部ふさぎ板付きの場合の切断方法

①「5-1-1」を参照して、エンドカバーの上部を切断してください。

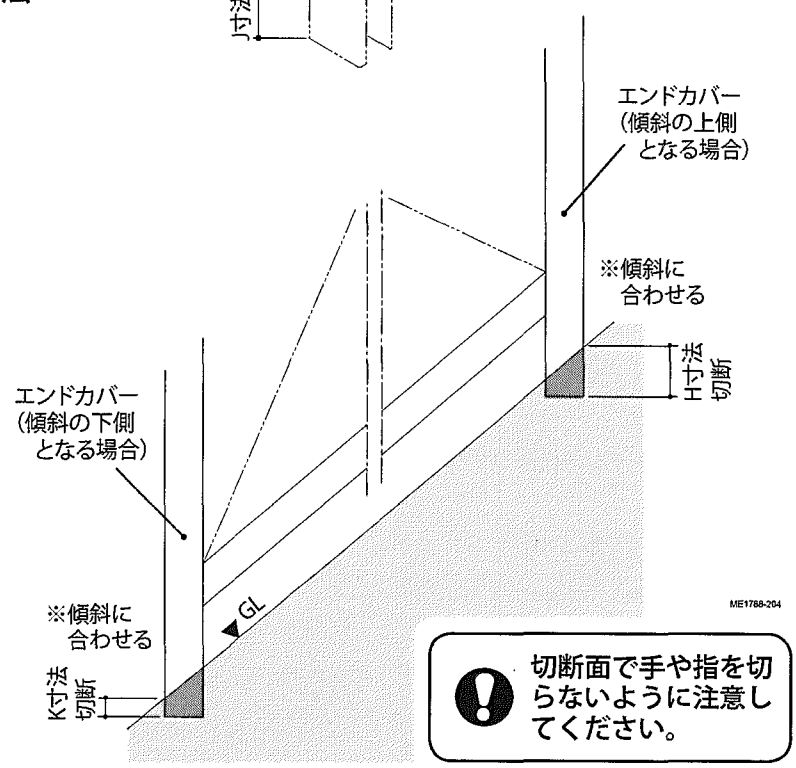
上部の切断寸法は、「標準」と同じです。

②下表で寸法を確認して、エンドカバーの下部を傾斜に合わせて切断してください。

傾斜の上側と下側で切断寸法が異なります。

●切断寸法表 (mm)

傾斜角度(θ)	切断寸法					
	1段用		2段用		3段用	
	H	K	H	K	H	K
1～5°	94	87	110	103	127	120
6～10°	97	82	112	97	125	113
11～15°	97	75	112	90	125	104
16～20°	100	67	112	80	125	92
21～25°	100	56	112	68	122	78
26～30°	100	43	110	53	116	59
31～35°	100	28	105	33	109	37
36～40°	100	9	100	9	100	9

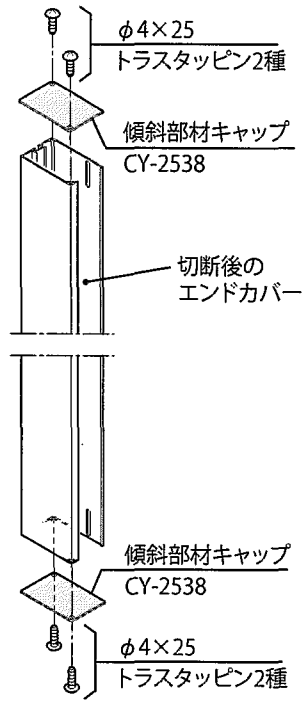


切断面で手や指を切らないように注意してください。

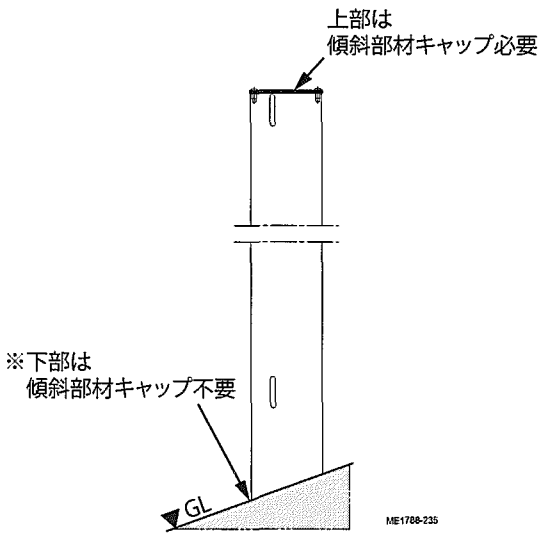
5－2 エンドカバーの取付け

①傾斜部材キャップをエンドカバーに取付けてください。

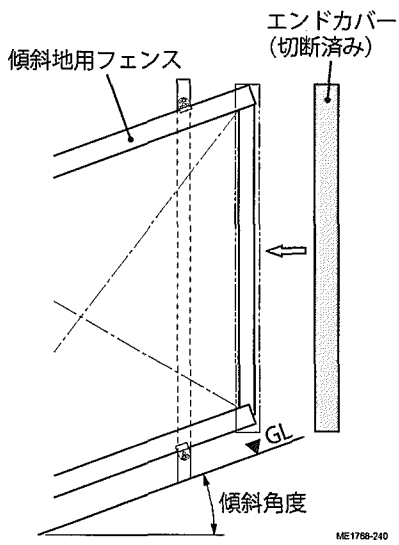
「下部ふさぎ板付き」の場合、下部には、傾斜部材キャップは不要です。



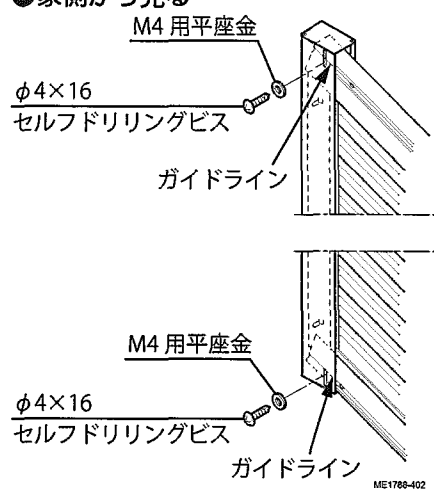
●「下部ふさぎ板付き」の場合



②エンドカバーをフェンス端部に取付けてください。



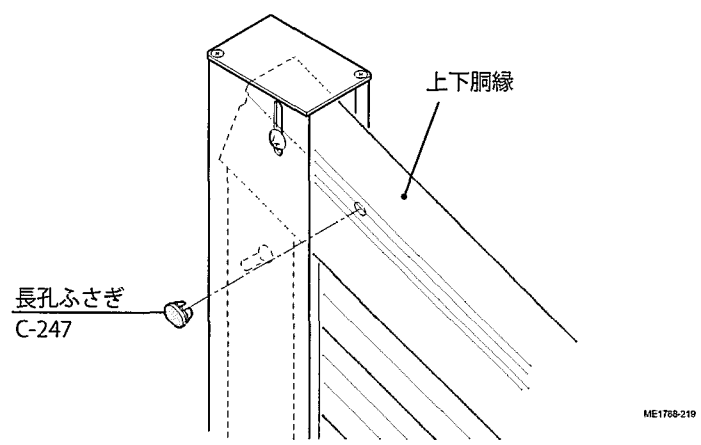
●家側から見る



6 フェンス取付け後の作業

6－1 長孔ふさぎの取付け

①上・下胴縁の取付けに使用しない加工孔に、長孔ふさぎを取付けてください。



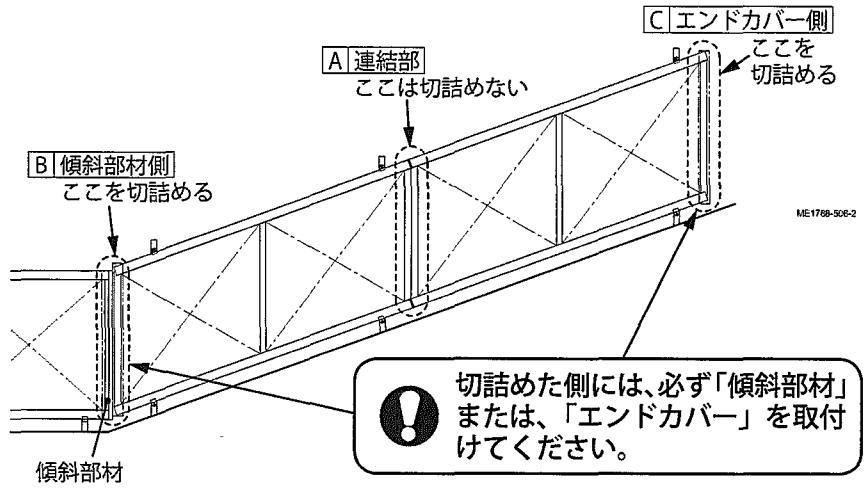
6－2 ビスの本締め

①全体の調整後、各取付ビスを本締めしてください。

7 フェンスの切詰め

●現場寸法に合わせ、フェンスの切詰めを行う場合に参照してください。
●切詰め可能範囲：胴縁長さ 360mm 以上

7－1 フェンスの切詰め



●「A 連結部」を切詰めないでください。
●必ず、「B 傾斜部材側」または「C エンドカバー側」を切詰めてください。

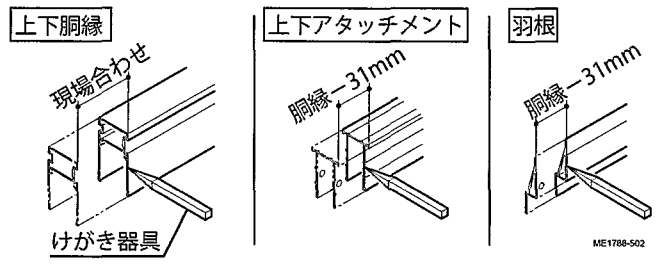
切詰めた側には、必ず「傾斜部材」または、「エンドカバー」を取付けてください。

①上下胴縁を固定しているビスを外し、上下胴縁をスライドして外してください。

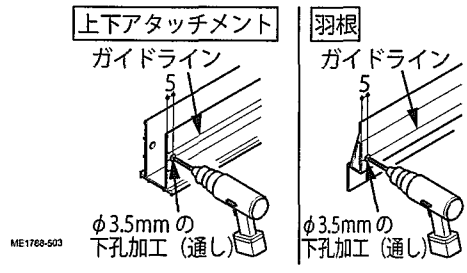
②上下アタッチメントおよび羽根にケガキ線を入れて切断し、ガイドライン上に下孔加工を行ってください。

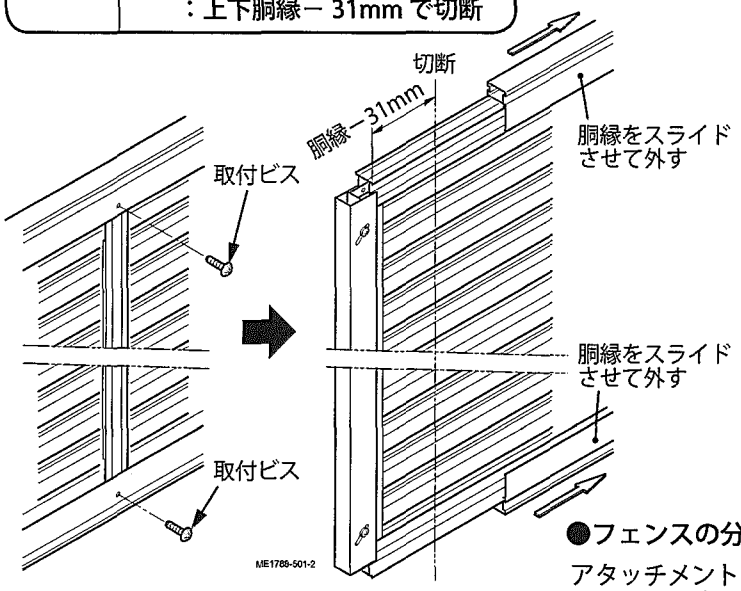
上下胴縁：現場合わせで切断
上下アタッチメント・羽根
：上下胴縁－31mm で切断

●切詰め寸法と切断



●下孔加工





③縦桟 A・B と羽根・上下アタッチメントを固定しているリベットをキリで外して、バラしてください。

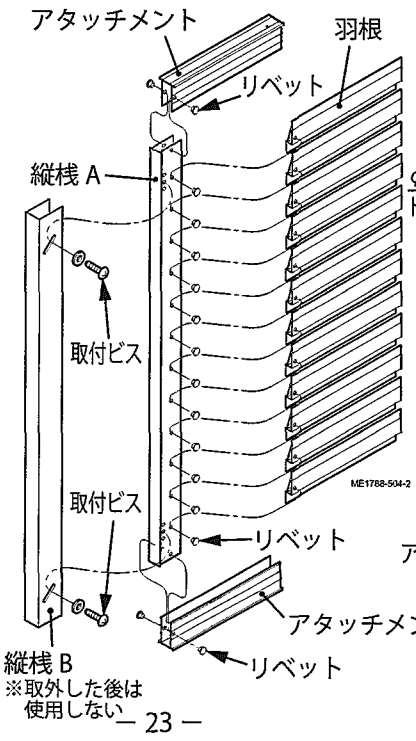
④羽根・上下アタッチメントを、縦桟 A にビスで固定してください。

このとき、縦桟 B は使用しません。
※切詰め後は、縦桟 B と羽根のビス頭が干渉するため、縦桟Bを再度取付けることができなくなります。

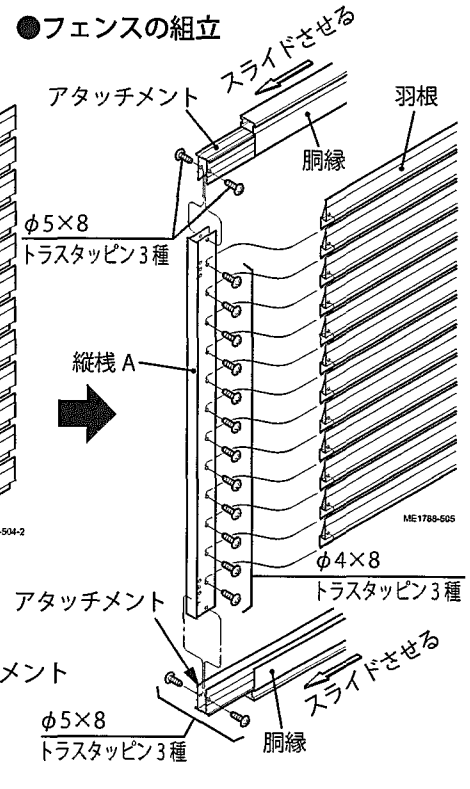
切詰め用ビスセット内のビスを使用してください。
※ビスセットは、傾斜部材・傾斜自在部材・エンドカバーに梱包されています。

⑤上下胴縁をスライドさせて戻してください。

●フェンスの分解



●フェンスの組立



7－2 端部カバーの取付け（※オプション）

切断した側を、必ず、「傾斜部材側」または「エンドカバー側」としてください。（前ページ参照）

1枚のフェンスを切断して2枚として使用する場合に、切断位置に端部カバー（縦桟A）を取付けてください。

①任意の位置でフェンスを2枚に切断してください。

②「7-1. フェンスの切詰め」と同じ要領で、上下アタッチメント・羽根を切詰め、下孔加工を行ってください。

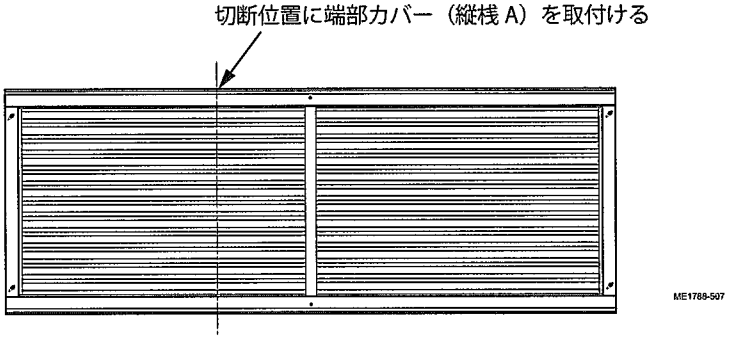
③「7-1. フェンスの切詰め」と同じ要領で、フェンスを組立ててください。

このとき、縦桟Bは使用しません。
※縦桟Bは、端部カバーには梱包されていません。
※切詰めた後は、縦桟Bと羽根のビス頭が干渉するため、縦桟Bを取付けることができなくなります。

フェンスの組立てには、切詰め用ビスセット内のビスを使用してください。
※ビスセットは、傾斜部材・傾斜自在部材・エンドカバーに梱包されています。

傾斜部材またはエンドカバーを取付けると、ビスは見えなくなります。

●フェンスの切断



施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　）　　-
販売店	TEL（　　）　　-